

小城市総合計画後期基本計画住民アンケート調査
－ 概要版（要約編） －

平成23年3月
佐賀県 小城市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 回答者の属性	4
III 調査結果	5
【1】行動範囲について	5
1. 日常生活で出かける地域	5
【2】市の現状について	6
1. 小城市の住みやすさ（住み心地）	6
2. 小城市への愛着度	6
3. 小城市への永住意向	6
(1) 小城市への永住意向	6
(2) 住みたくない主な理由	7
4. 「にぎわいのあるまち」意識	7
【3】市の施策について	8
1. 施策の満足度・重要度	8
(1) 満足度	10
(2) 重要度	13
(3) 満足度と重要度の相関図による分析（全体傾向）	16
【4】公共交通について	18
1. 公共交通機関の利便性評価	18
【5】消防・防災などの危機管理について	18
1. 市の危機管理に力を入れるべきこと	18
【6】自然環境・環境問題について	19
1. 自然環境問題への関心	19
2. 「3R運動」の実践状況	19
3. 小城市内の公園利用状況	19
【7】保健・医療・福祉について	20
1. 保健・医療体制についての希望	20
2. 高齢者施策について力を入れるべきこと	21
3. 生きがいをもって自立した生活ができていることについて	21
4. 障がい者施策について力を入れるべきこと	22
5. 子育て環境について	22
(1) 小城市が「安心して子育てができるまち」と感じる程度	22
(2) 「安心して子育てができるまち」と感じない理由	23
【8】産業振興について	24
1. 農林業振興のため力を入れるべきこと	24
2. 水産業振興のため力を入れるべきこと	25
3. 商業振興のため力を入れるべきこと	26
4. 工業振興のため力を入れるべきこと	27
5. 観光振興のため力を入れるべきこと	27

【9】	学校教育・社会教育・生涯学習について	28
1.	子どもの健やかな育成のため力を入れるべきこと	28
2.	生涯学習への取り組み状況	29
3.	文化的活動等への参加状況	29
【10】	市の広報活動について	30
1.	市の広報活動に対する満足度	30
【11】	市民活動・ボランティア活動、協働について	30
1.	市民活動やボランティア活動について	30
(1)	市民活動やボランティア活動参加意向	30
(2)	今後参加したい活動	31
2.	「協働」の意味の認知	32
【12】	人権について	33
1.	人権侵害意識	33
【13】	市政運営について	34
1.	市政運営についての満足度	34

I 調査の概要

【調査の目的】

本市の基本的な方向性を示す長期的計画である「小城市総合計画」の中間見直しにあたって、市民の市政に対する意見や要望等を把握し、今後のまちづくり施策等に反映させることを目的として実施した。

【調査地域】

小城市全域

【調査対象】

本市に居住する 19 歳以上の男女

【対象者抽出方法】

住民基本台帳による無作為抽出

【調査方法】

郵送配布、郵送回収

【調査期間】

平成 23 年（2011 年）1 月 25 日（火）～2 月 14 日（月）

【回収結果】

配布数 ----- 2,000 件（うち未着数 23 件）

有効回収数 ----- 868 件

有効回収率 ----- 43.4%

地区別回収状況（上段：件数、下段：構成比%）

標本数	小城市地区	小城市地区				三日月地区	牛津地区	牛津地区		砥川地区	芦刈地区	無回答
		桜岡校区	岩松校区	晴田校区	三里校区			牛津校区	砥川校区			
868	310	94	75	111	30	229	205	150	55	123	1	
100.0	35.7	10.8	8.6	12.8	3.5	26.4	23.6	17.3	6.3	14.2	0.1	

※「問1(1)現在お住まいの地区」回答結果より

【調査項目】

回答者の属性（問 1）	
問 1（1）	居住地区
問 1（2）	性別
問 1（3）	年齢
問 1（4）	職業
問 1（5）	家族構成
問 1（6）	小城市での居住年数
行動範囲について（問 2）	
問 2	日常生活で出かける地域（9 項目の商品群別）
市の現状について（問 3～6）	
問 3	小城市の住みやすさ（住み心地）
問 4	小城市への愛着度
問 5	小城市への永住意向
問 5 付問	住みたくない主な理由
問 6	「にぎわいのあるまち」意識
市の施策について（問 7）	
問 7	施策の満足度・重要度（35 の施策別）
公共交通について（問 8）	
問 8	公共交通機関の利便性評価
消防・防災などの危機管理について（問 9）	
問 9	市の危機管理に力を入れるべきこと
自然環境・環境問題について（問 10～12）	
問 10	自然環境問題への関心度
問 11	「3 R 運動」の実践状況
問 12	小城市内の公園利用状況
保健・医療・福祉について（問 13～17）	
問 13	保健・医療体制についての希望
問 14	高齢者施策について力を入れるべきこと
問 15	生きがいをもって自立した生活ができていることについて
問 16	障がい者施策について力を入れるべきこと
問 17	小城市が「安心して子育てができるまち」と感じる程度
問 17 付問	「安心して子育てができるまち」と感じない理由
産業振興について（問 18～22）	
問 18	農林業振興のため力を入れるべきこと
問 19	水産業振興のため力を入れるべきこと
問 20	商業振興のため力を入れるべきこと
問 21	工業振興のため力を入れるべきこと
問 22	観光振興のため力を入れるべきこと

(続き)

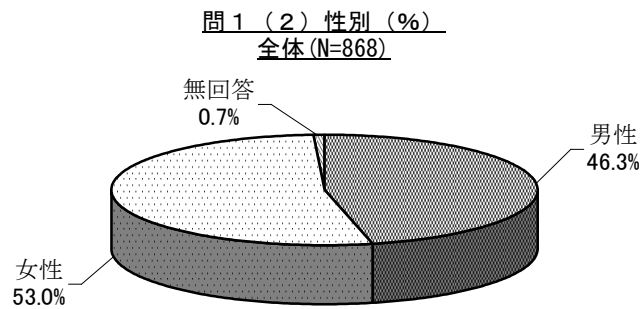
学校教育・社会教育・生涯学習について（問 23～25）	
問 23	子どもの健やかな育成のため力を入れるべきこと
問 24	生涯学習への取り組み状況
問 25	文化的活動等への参加状況
市の広報活動について（問 26）	
問 26	市の広報活動に対する満足度
市民活動・ボランティア活動、協働について（問 27～28）	
問 27	市民活動やボランティア活動参加意向
問 27 付問	今後参加したい活動
問 28	「協働」の意味の認知
人権について（問 29）	
問 29	人権侵害意識
市政運営について（問 30）	
問 30	市政運営についての満足度
自由意見（問 31）	
問 31	施策のあり方などについての意見・要望（自由記述）

【概要版の見方について】

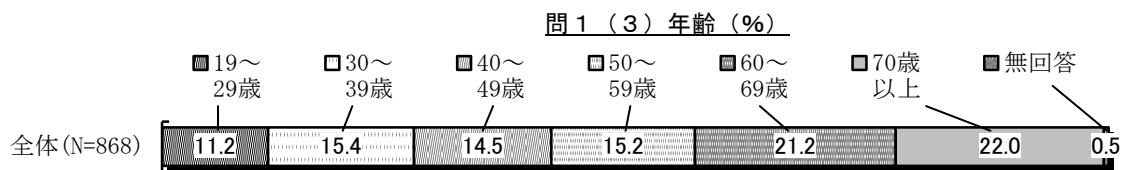
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で表記している。
- (4) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

II 回答者の属性

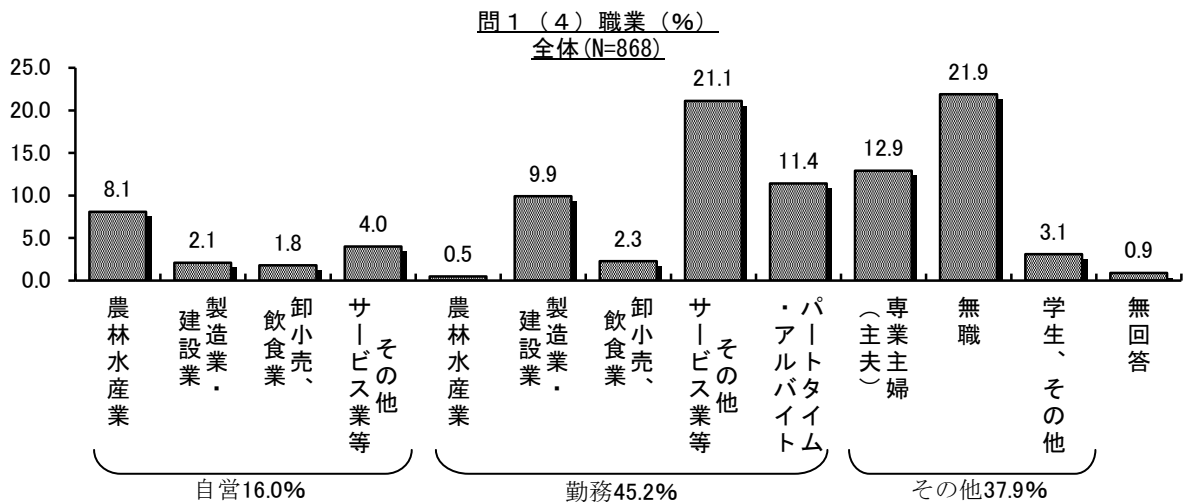
1. 性別



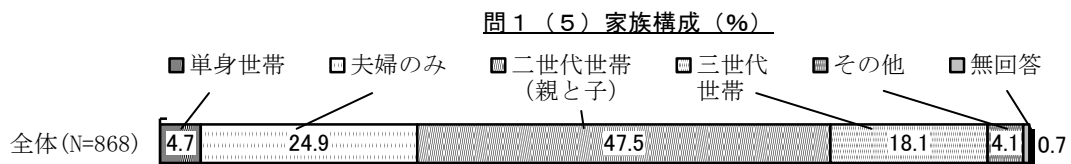
2. 年齢



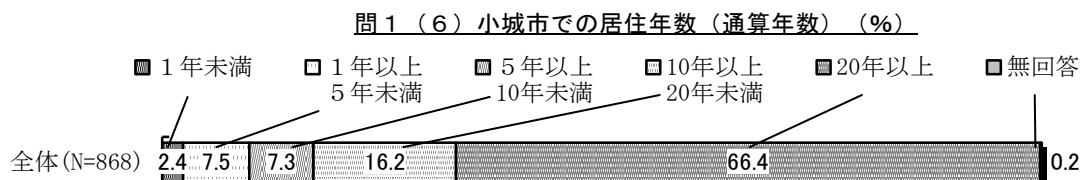
3. 職業



4. 家族構成



5. 小城市での居住年数



Ⅲ 調査結果

【1】行動範囲について

1. 日常生活で出かける地域

問2. あなたの日常生活で出かける地域はどこですか。それぞれの項目ごとにお答えください。(○印1つずつ)

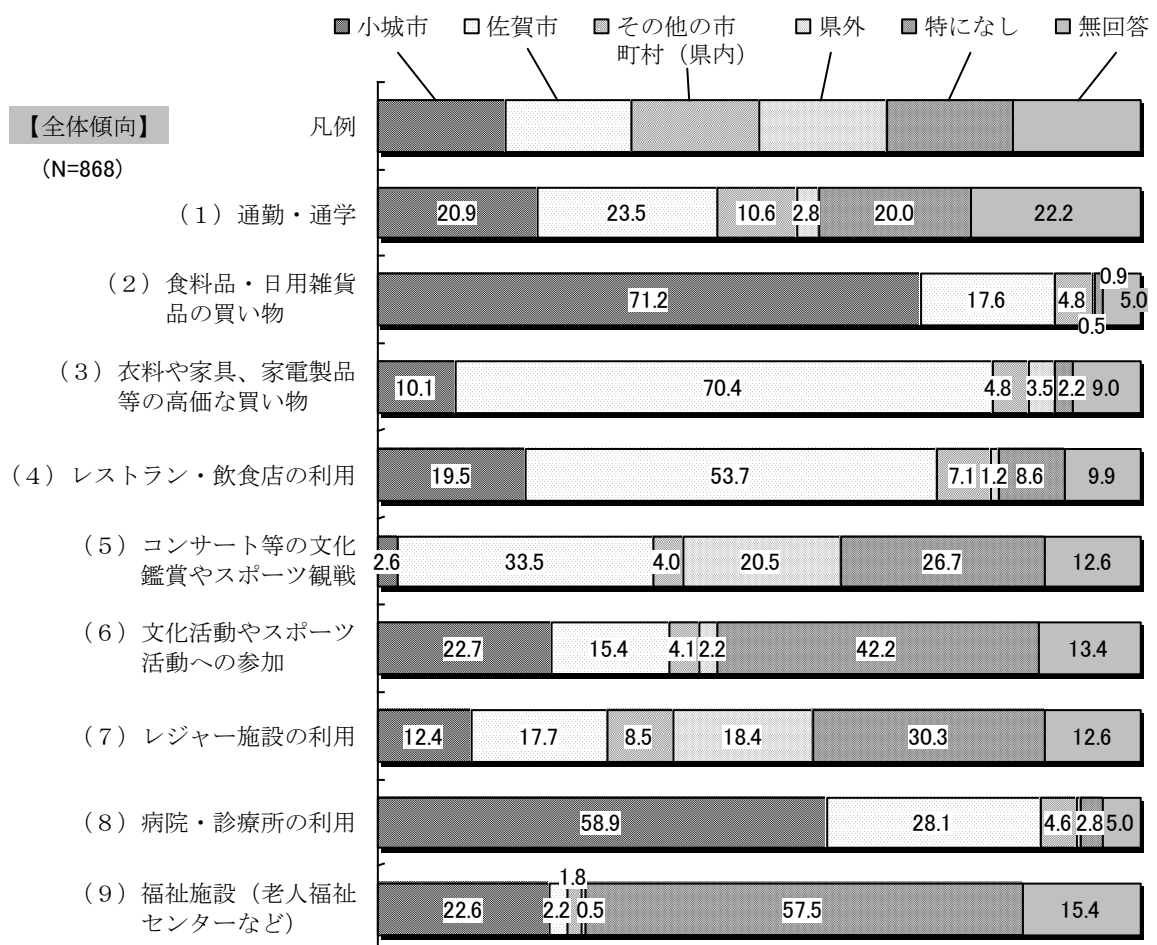
【全体傾向】

「小城市」への回答が多い項目としては「(2) 食料品・日用雑貨品の買い物」が71.2%と最も多く、次いで「(8) 病院・診療所の利用」(58.9%)、「(6) 文化活動やスポーツ活動への参加」(22.7%)、「(9) 福祉施設(老人福祉センターなど)」(22.6%)の順となっている。

「佐賀市」への回答が多い項目としては「(3) 衣料や家具、家電製品等の高価な買い物」(70.4%)、「(4) レストラン・飲食店の利用」(53.7%)、「(5) コンサート等の文化鑑賞やスポーツ観戦」(33.5%)などがあげられる。

また「県外」については「(5) コンサート等の文化鑑賞やスポーツ観戦」(20.5%)、「(7) レジャー施設の利用」(18.4%)などが多くなっている。

問2. 日常生活で出かける地域 (%)

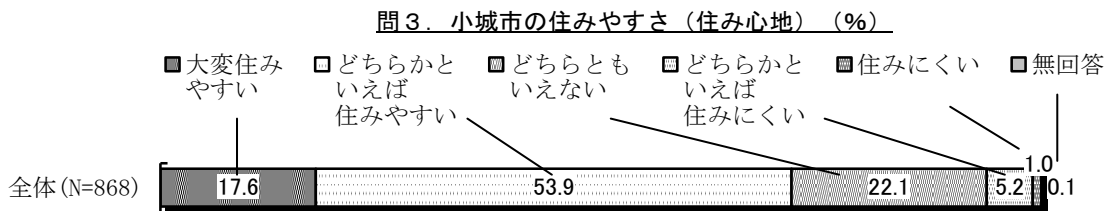


【2】市の現状について

1. 小都市の住みやすさ（住み心地）

問3. あなたは、小都市の「住みやすさ（住み心地）」について、どのように感じていますか。（○印1つ）

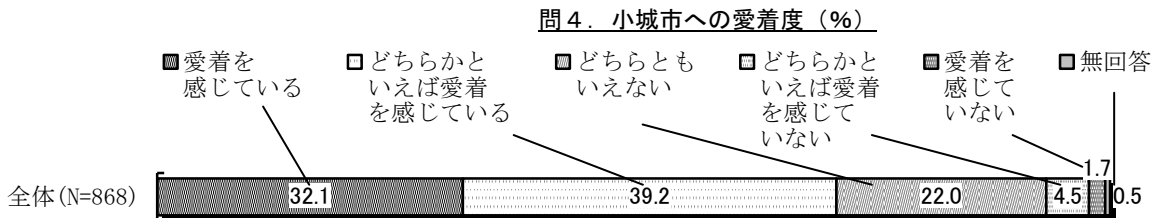
小都市の住みやすさ（住み心地）については、「大変住みやすい」が17.6%、「どちらかといえば住みやすい」が53.9%で、合計7割（71.5%）が『住みやすい』と評価している。一方「どちらかといえば住みにくい」（5.2%）、「住みにくい」（1.0%）の合計は6.2%となっている。



2. 小都市への愛着度

問4. あなたは、小都市について、どの程度愛着を感じていますか。（○印1つ）

小都市への愛着度については、「愛着を感じている」が32.1%、「どちらかといえば愛着を感じている」が39.2%で、合計7割（71.3%）が『愛着を感じている』と意識している。『愛着を感じていない』層は合計で6.2%と少数派である。

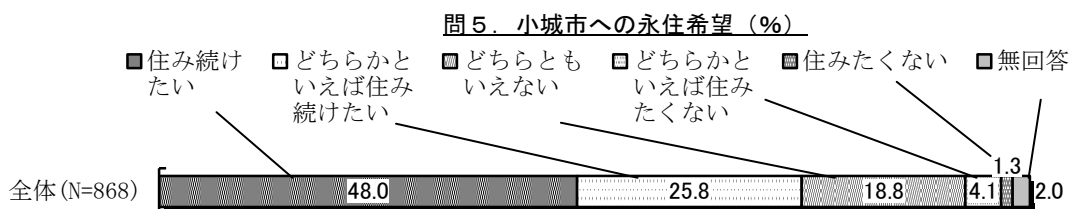


3. 小都市への永住意向

（1）小都市への永住意向

問5. あなたは、これからも小都市に住み続けたいと思いますか。（○印1つ）

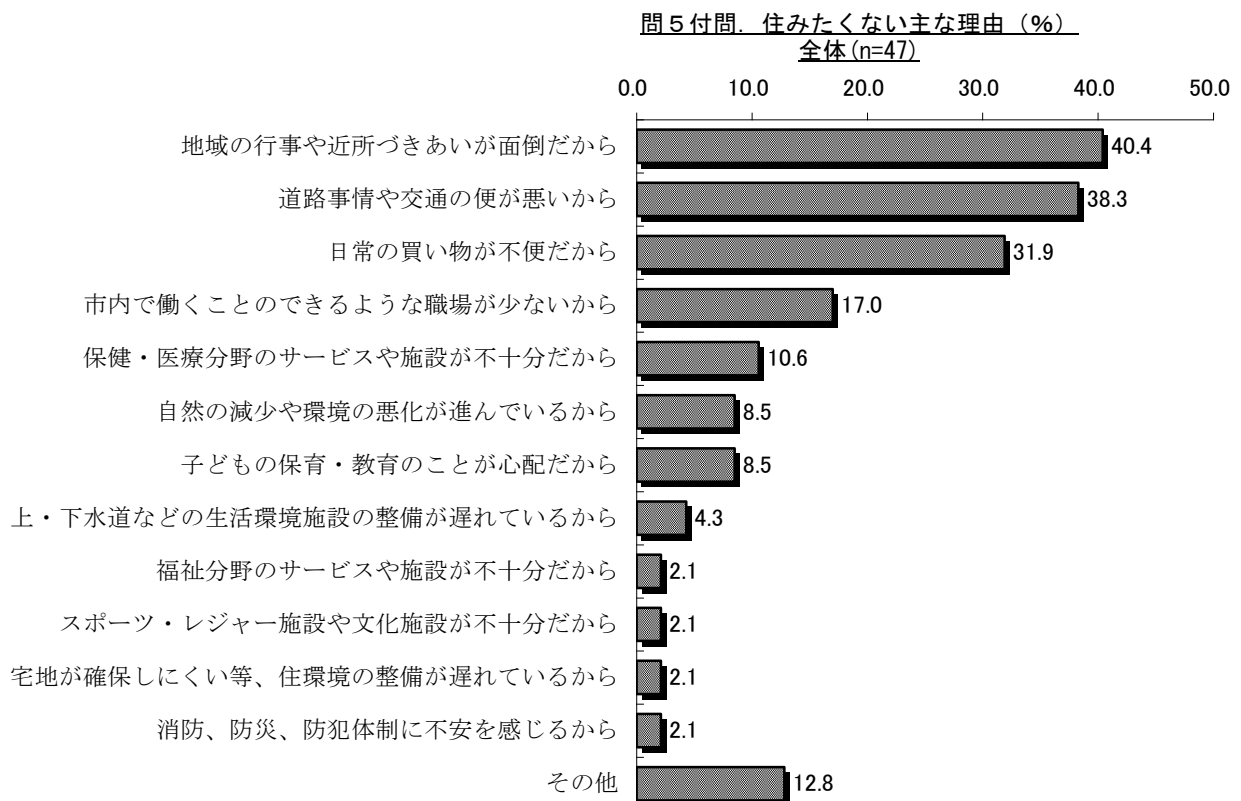
小都市への永住希望については、「住み続けたい」が48.0%、「どちらかといえば住み続けたい」が25.8%で、合計7割以上（73.8%）が『住み続けたい』と回答している。一方「どちらかといえば住みたくない」（4.1%）、「住みたくない」（1.3%）の合計は5.4%となっている。



(2) 住みたくない主な理由

問5付問（問5で4～5と回答した方へ）住みたくない主な理由はどのようなことですか。（○印2つまで）

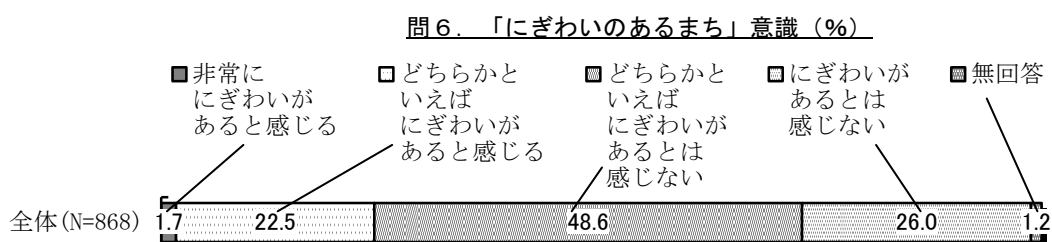
住みたくない主な理由については、「地域の行事や近所づきあいが面倒だから」が40.4%と最も多く、次いで「道路事情や交通の便が悪いから」（38.3%）、「日常の買い物が不便だから」（31.9%）、「市内で働くことのできるような職場が少ないから」（17.0%）、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分だから」（10.6%）の順となっている。



4. 「にぎわいのあるまち」意識

問6. 小城市は、どの程度「にぎわいのあるまち」と感じていますか。（○印1つ）

「にぎわいのあるまち」意識については、「非常ににぎわいがあると感じる」が1.7%、「どちらかといえばにぎわいがあると感じる」が22.5%で、合計24.2%が『にぎわいがある』と感じている。一方、「どちらかといえばにぎわいがあるとは感じない」が48.6%と半数近くを占め最も多く、「にぎわいがあるとは感じない」が26.0%と、合計7割以上（74.6%）が、にぎわいを感じていない。



【3】市の施策について

1. 施策の満足度・重要度

問7. 次の表は、小城市のまちづくり指針である「小城市総合計画」の各施策を示しています。あなたは、次の各項目の施策について、現在、どれくらい満足されていますか。また、今後のまちづくりを進めていくうえで、どれくらい重要だと思えますか。
(各項目の満足度・重要度について、それぞれ1つずつ選んで○をつけてください)

本市の施策について、35の項目を掲げ、それぞれの「満足度」「重要度」を5段階評価で尋ねた。各施策の満足度と重要度については、次のようなステップで回答結果を整理し、分析した。

①満足度、重要度の加重平均値による分析

満足度と重要度は以下に示す加重平均値を算出する方法で点数化している。

「満足度」については「満足」「やや満足」への回答とともに、「やや不満」「不満」「どちらともいえない」という選択肢もある。そのため、この「満足度」をより的確に分析するために、加重平均値による指標化を行った。

加重平均値の算出方法は、「満足」に2点、「やや満足」に1点、「どちらともいえない」に0点、「やや不満」に-1点、「不満」に-2点の係数(ウェイト)を設定し、項目ごとの回答結果を(「満足」の回答件数×2点+「やや満足」の回答件数×1点+「どちらともいえない」の回答件数×0点+「やや不満」の回答件数×-1点+「不満」の回答件数×-2点)÷(回答者件数-無回答件数)として指標としている。

この指標によって、「満足度」の強弱を、より明確に分析することができる。

「重要度」についても、同様な算出方法で加重平均値を算出している。

②満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、35の施策を散布図上に相関図として示した。

35の行政施策分析項目は次表の通りである。

【平成22年度行政施策分析項目】(満足度・重要度各35問)

	行政施策	施策の概要
拠点のまち 県央に光る交流	(1) 計画的な土地利用の推進	土地利用計画の策定など
	(2) 市街地の整備	市街地の計画的な整備など
	(3) 住宅環境の充実	市営住宅の建て替えや居住系市街地の計画的整備など
	(4) 道路・交通網の整備	高速交通、国・県・市道整備など
	(5) 情報化の推進	情報通信基盤や情報ネットワーク網の整備など
安心なまち 自然と共生する快適で安全・	(6) 自然環境・景観の保全と創造	自然環境・景観の保全や環境教育等の推進など
	(7) 公園・緑地の整備	身近な公園・緑地等の整備や維持・管理
	(8) 水道水の安全・安定供給	水道施設の整備や節水の推進など
	(9) 下水道の整備	下水道整備の推進など
	(10) 循環型社会の形成	ごみ処理、リサイクル体制の充実など
	(11) 消防・防災体制の充実	消防施設や防災体制の充実など
	(12) 交通安全・防犯体制の充実	交通安全活動や防犯活動の推進など
	(13) 安全な消費生活の充実	消費者トラブルの未然防止や相談体制の充実など
目指すまち 健康・福祉日本一を	(14) 保健・医療の充実と健康づくり	母子・成人保健、医療体制の充実など
	(15) 生涯スポーツの充実	スポーツ施設の整備や団体、指導者の育成など
	(16) 地域福祉の充実	福祉サービスの充実や福祉教育・啓発活動の推進など
	(17) 高齢者福祉・介護の充実	高齢者保健福祉、介護保険事業の充実など
	(18) 障がい者福祉の充実	障がい者福祉の推進やバリアフリー化の充実など
	(19) 社会保障の充実	国民健康保険事業の健全化や生活困窮世帯の支援など
誇れるまち 子どもの笑顔が輝き 歴史と文化を	(20) 子育て支援の充実	保育サービスや放課後児童クラブの充実など
	(21) 幼児教育・学校教育の充実	幼児教育や小・中学校教育内容の充実など
	(22) 生涯学習の充実	生涯学習推進体制の充実や指導者の育成など
	(23) 青少年の健全育成	健全な社会環境づくりや青少年交流活動等の推進など
	(24) 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用	梧竹記念館・歴史資料館や郷土芸能の振興など
	(25) 国際化・交流活動の推進	国際化の推進や外国人との交流機会の充実など
まち 質の高い元気産業の 交流と連携による	(26) 農林業の振興	農地の保全や生産性の向上、ブランド化の促進など
	(27) 水産業の振興	漁港や漁業関連施設の整備、養殖等の促進・支援など
	(28) 商工業の振興と新産業の育成	商店街活性化や特産品の開発など
	(29) 観光の振興	観光PR活動の強化や観光・交流イベントの充実など
	(30) 雇用促進と勤労者福祉の充実	雇用機会の確保と雇用の促進など
新しいまち 共につくる	(31) 人権尊重社会の確立	人権教育・啓発活動の推進や相談体制の充実など
	(32) 男女共同参画社会の形成	啓発活動の促進や育児・介護休業制度啓発など
	(33) コミュニティ活動の促進	コミュニティや住民自治に関する啓発など
	(34) 市民と行政との協働体制の確立	ボランティア、NPO等の育成など
	(35) 自立した行政経営の確立	財政状況の健全化、行政改革、広域行政の推進など

(1) 満足度

【全体傾向】

満足度が高い項目として「8. 水道水の安全・安定供給」「11. 消防・防災体制の充実」「6. 自然環境・景観の保全と創造」「24. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用」「14. 保健・医療の充実と健康づくり」などがあげられる。

満足度が低い項目としては「30. 雇用促進と勤労者福祉の充実」「28. 商工業の振興と新産業の育成」「2. 市街地の整備」「1. 計画的な土地利用の推進」「29. 観光の振興」などがあげられる。

【小城地区】

満足度が高い項目として「8. 水道水の安全・安定供給」「11. 消防・防災体制の充実」「7. 公園・緑地の整備」「24. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用」「6. 自然環境・景観の保全と創造」があげられる。

満足度が低い項目として「9. 下水道の整備」「30. 雇用促進と勤労者福祉の充実」「28. 商工業の振興と新産業の育成」「1. 計画的な土地利用の推進」「2. 市街地の整備」があげられる。

【三日月地区】

満足度が高い項目として「8. 水道水の安全・安定供給」「11. 消防・防災体制の充実」「6. 自然環境・景観の保全と創造」「24. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用」「14. 保健・医療の充実と健康づくり」があげられる。

満足度が低い項目として「30. 雇用促進と勤労者福祉の充実」「4. 道路・交通網の整備」「28. 商工業の振興と新産業の育成」「29. 観光の振興」「2. 市街地の整備」があげられる。

【牛津地区】

満足度が高い項目として「9. 下水道の整備」「8. 水道水の安全・安定供給」「11. 消防・防災体制の充実」「12. 交通安全・防犯体制の充実」「14. 保健・医療の充実と健康づくり」があげられる。

満足度が低い項目として「30. 雇用促進と勤労者福祉の充実」「28. 商工業の振興と新産業の育成」「2. 市街地の整備」「29. 観光の振興」「3. 住宅環境の充実」があげられる。

【芦刈地区】

満足度が高い項目として「8. 水道水の安全・安定供給」「11. 消防・防災体制の充実」「6. 自然環境・景観の保全と創造」「14. 保健・医療の充実と健康づくり」「12. 交通安全・防犯体制の充実」があげられる。

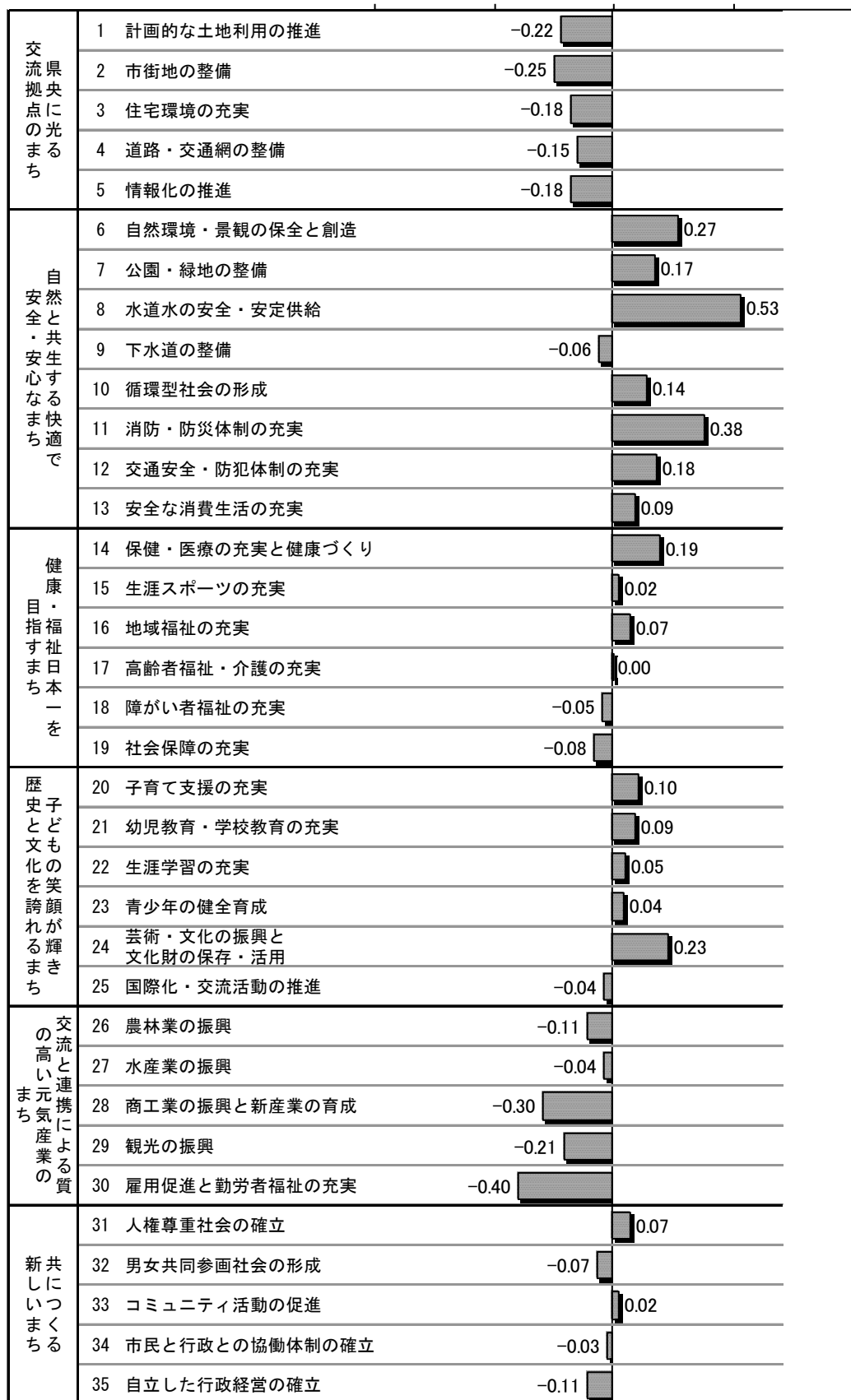
満足度が低い項目として「30. 雇用促進と勤労者福祉の充実」「1. 計画的な土地利用の推進」「2. 市街地の整備」「3. 住宅環境の充実」「28. 商工業の振興と新産業の育成」があげられる。

満足度

不満 ← 平均 → 満足

【全体傾向】

-1.00 -0.50 0.00 0.50 1.00



【満足度】（加重平均値）		全体	地区別			
			小城	三日月	牛津	芦刈
標本数(n=)		868	310	229	205	123
交流拠点に光るまち	1. 計画的な土地利用の推進	-0.22	-0.30	-0.10	-0.12	-0.38
	2. 市街地の整備	-0.25	-0.28	-0.17	-0.25	-0.36
	3. 住宅環境の充実	-0.18	-0.13	-0.13	-0.19	-0.36
	4. 道路・交通網の整備	-0.15	-0.15	-0.28	0.00	-0.16
	5. 情報化の推進	-0.18	-0.19	-0.15	-0.18	-0.21
自然と共生する快適なまち	6. 自然環境・景観の保全と創造	0.27	0.32	0.31	0.21	0.19
	7. 公園・緑地の整備	0.17	0.36	0.16	-0.03	0.04
	8. 水道水の安全・安定供給	0.53	0.75	0.35	0.48	0.42
	9. 下水道の整備	-0.06	-0.45	-0.03	0.62	-0.25
	10. 循環型社会の形成	0.14	0.14	0.11	0.21	0.06
	11. 消防・防災体制の充実	0.38	0.48	0.34	0.38	0.22
	12. 交通安全・防犯体制の充実	0.18	0.18	0.14	0.24	0.15
健康・福祉日本一を目指すまち	13. 安全な消費生活の充実	0.09	0.08	0.10	0.08	0.11
	14. 保健・医療の充実と健康づくり	0.19	0.18	0.19	0.23	0.18
	15. 生涯スポーツの充実	0.02	-0.09	0.11	0.07	0.01
	16. 地域福祉の充実	0.07	0.08	0.08	0.06	0.03
	17. 高齢者福祉・介護の充実	0.00	0.04	0.02	-0.04	-0.07
歴史と文化が輝くまち	18. 障がい者福祉の充実	-0.05	0.01	-0.11	-0.06	-0.09
	19. 社会保障の充実	-0.08	-0.04	-0.09	-0.08	-0.15
	20. 子育て支援の充実	0.10	0.16	0.06	0.04	0.13
	21. 幼児教育・学校教育の充実	0.09	0.15	0.02	0.10	0.07
	22. 生涯学習の充実	0.05	0.07	0.06	0.08	-0.06
質の高い連携による産業	23. 青少年の健全育成	0.04	0.09	0.02	0.04	-0.04
	24. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用	0.23	0.32	0.22	0.21	0.06
	25. 国際化・交流活動の推進	-0.04	-0.05	-0.02	-0.02	-0.06
	26. 農林業の振興	-0.11	-0.06	-0.12	-0.16	-0.10
	27. 水産業の振興	-0.04	-0.03	-0.06	-0.06	-0.02
新しいまち	28. 商工業の振興と新産業の育成	-0.30	-0.35	-0.27	-0.26	-0.32
	29. 観光の振興	-0.21	-0.22	-0.19	-0.20	-0.24
	30. 雇用促進と勤労者福祉の充実	-0.40	-0.36	-0.39	-0.44	-0.48
新しいまち	31. 人権尊重社会の確立	0.07	0.06	0.06	0.11	0.04
	32. 男女共同参画社会の形成	-0.07	-0.06	-0.13	0.03	-0.13
	33. コミュニティ活動の促進	0.02	0.01	-0.01	0.05	0.04
	34. 市民と行政との協働体制の確立	-0.03	-0.03	-0.01	-0.06	0.00
	35. 自立した行政経営の確立	-0.11	-0.11	-0.09	-0.06	-0.20

(2) 重要度

【全体傾向】

重要度が高い項目として「14. 保健・医療の充実と健康づくり」「8. 水道水の安全・安定供給」「10. 循環型社会の形成」「12. 交通安全・防犯体制の充実」「17. 高齢者福祉・介護の充実」などがあげられる。

重要度が低い項目としては「25. 国際化・交流活動の推進」「33. コミュニティ活動の促進」「24. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用」「3. 住宅環境の充実」「15. 生涯スポーツの充実」などがあげられる。

【小城地区】

重要度が高い項目として「14. 保健・医療の充実と健康づくり」「8. 水道水の安全・安定供給」「10. 循環型社会の形成」「11. 消防・防災体制の充実」「17. 高齢者福祉・介護の充実」などがあげられる。

重要度が低い項目としては「25. 国際化・交流活動の推進」「33. コミュニティ活動の促進」「15. 生涯スポーツの充実」「34. 市民と行政との協働体制の確立」「24. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用」などがあげられる。

【三日月地区】

重要度が高い項目として「8. 水道水の安全・安定供給」「14. 保健・医療の充実と健康づくり」「12. 交通安全・防犯体制の充実」「21. 幼児教育・学校教育の充実」「17. 高齢者福祉・介護の充実」などがあげられる。

重要度が低い項目としては「25. 国際化・交流活動の推進」「33. コミュニティ活動の促進」「3. 住宅環境の充実」「27. 水産業の振興」「15. 生涯スポーツの充実」などがあげられる。

【牛津地区】

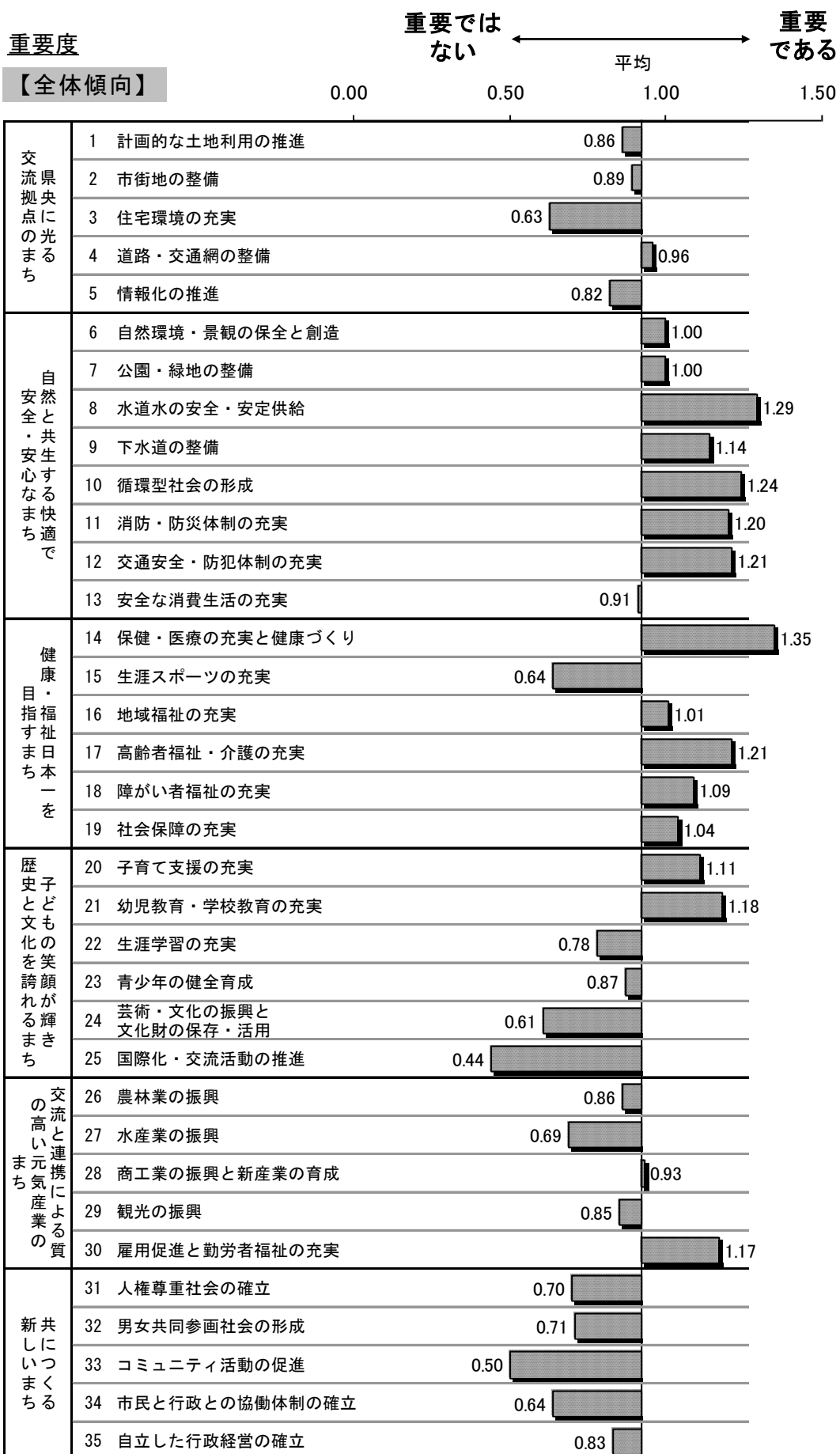
重要度が高い項目として「14. 保健・医療の充実と健康づくり」「10. 循環型社会の形成」「11. 消防・防災体制の充実」「12. 交通安全・防犯体制の充実」「8. 水道水の安全・安定供給」などがあげられる。

重要度が低い項目としては「33. コミュニティ活動の促進」「25. 国際化・交流活動の推進」「27. 水産業の振興」「24. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用」「31. 人権尊重社会の確立」などがあげられる。

【芦刈地区】

重要度が高い項目として「10. 循環型社会の形成」「14. 保健・医療の充実と健康づくり」「30. 雇用促進と勤労者福祉の充実」「12. 交通安全・防犯体制の充実」「17. 高齢者福祉・介護の充実」「8. 水道水の安全・安定供給」などがあげられる。

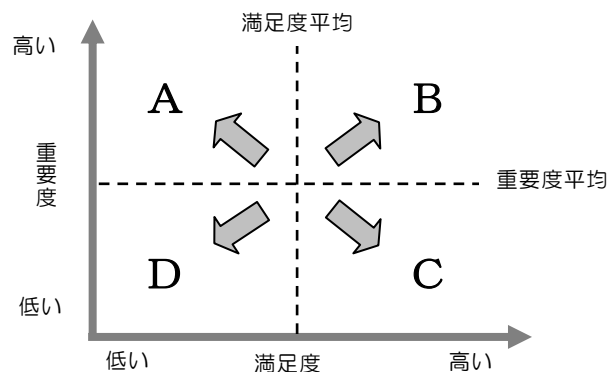
重要度が低い項目としては「25. 国際化・交流活動の推進」「33. コミュニティ活動の促進」「24. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用」「3. 住宅環境の充実」「34. 市民と行政との協働体制の確立」などがあげられる。



【重要度】（加重平均値）		全体	地区別			
			小城	三日月	牛津	芦刈
標本数(n=)		868	310	229	205	123
交流拠点に光るまち	1. 計画的な土地利用の推進	0.86	0.86	0.85	0.87	0.88
	2. 市街地の整備	0.89	0.86	0.87	0.92	0.93
	3. 住宅環境の充実	0.63	0.62	0.60	0.71	0.57
	4. 道路・交通網の整備	0.96	0.94	1.10	0.90	0.88
	5. 情報化の推進	0.82	0.76	0.88	0.82	0.86
自然と共生する快適で安全・安心なまち	6. 自然環境・景観の保全と創造	1.00	1.01	1.04	0.93	1.00
	7. 公園・緑地の整備	1.00	1.05	1.05	0.97	0.86
	8. 水道水の安全・安定供給	1.29	1.35	1.35	1.24	1.12
	9. 下水道の整備	1.14	1.07	1.23	1.18	1.07
	10. 循環型社会の形成	1.24	1.23	1.23	1.26	1.21
	11. 消防・防災体制の充実	1.20	1.21	1.20	1.25	1.06
	12. 交通安全・防犯体制の充実	1.21	1.17	1.27	1.24	1.14
	13. 安全な消費生活の充実	0.91	0.91	0.97	0.92	0.81
健康・福祉日本一を目指すまち	14. 保健・医療の充実と健康づくり	1.35	1.41	1.28	1.40	1.21
	15. 生涯スポーツの充実	0.64	0.58	0.68	0.65	0.68
	16. 地域福祉の充実	1.01	0.99	1.04	0.97	1.04
	17. 高齢者福祉・介護の充実	1.21	1.21	1.24	1.22	1.12
	18. 障がい者福祉の充実	1.09	1.15	1.11	1.05	0.97
19. 社会保障の充実	1.04	1.09	1.00	1.04	1.00	
子どもと文化を誇れるまち	20. 子育て支援の充実	1.11	1.14	1.16	1.08	0.97
	21. 幼児教育・学校教育の充実	1.18	1.19	1.25	1.16	1.10
	22. 生涯学習の充実	0.78	0.74	0.80	0.83	0.78
	23. 青少年の健全育成	0.87	0.86	0.89	0.84	0.91
	24. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用	0.61	0.61	0.70	0.61	0.48
25. 国際化・交流活動の推進	0.44	0.43	0.37	0.52	0.44	
交流の高い元気産業のまち	26. 農林業の振興	0.86	0.85	0.87	0.82	0.94
	27. 水産業の振興	0.69	0.66	0.67	0.61	0.97
	28. 商工業の振興と新産業の育成	0.93	0.99	0.84	0.89	0.98
	29. 観光の振興	0.85	0.97	0.81	0.74	0.77
	30. 雇用促進と勤労者福祉の充実	1.17	1.20	1.15	1.15	1.15
新しいまち	31. 人権尊重社会の確立	0.70	0.69	0.79	0.61	0.75
	32. 男女共同参画社会の形成	0.71	0.67	0.87	0.64	0.60
	33. コミュニティ活動の促進	0.50	0.43	0.60	0.50	0.47
	34. 市民と行政との協働体制の確立	0.64	0.60	0.69	0.68	0.59
	35. 自立した行政経営の確立	0.83	0.79	0.89	0.82	0.82

(3) 満足度と重要度の相関図による分析（全体傾向）

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、35の施策を散布図上に示したものが相関図である。



縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関図では、満足度と重要度をマトリクス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上(A)、右上(B)、右下(C)、左下(D)の4方向に進むに従い、以下のような傾向を示している。

A. 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

●今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め満足度を高める必要のある領域。

→「4. 道路・交通網の整備」「9. 下水道の整備」「17. 高齢者福祉・介護の充実」「18. 障がい者福祉の充実」「19. 社会保障の充実」「28. 商工業の振興と新産業の育成」「30. 雇用促進と勤労者福祉の充実」などが該当する。

B. 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

●今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

→「6. 自然環境・景観の保全と創造」「8. 水道水の安全・安定供給」「11. 消防・防災体制の充実」「14. 保健・医療の充実と健康づくり」などが該当する。

C. 重要度が低く、満足度が高い（現状維持・見直し領域）

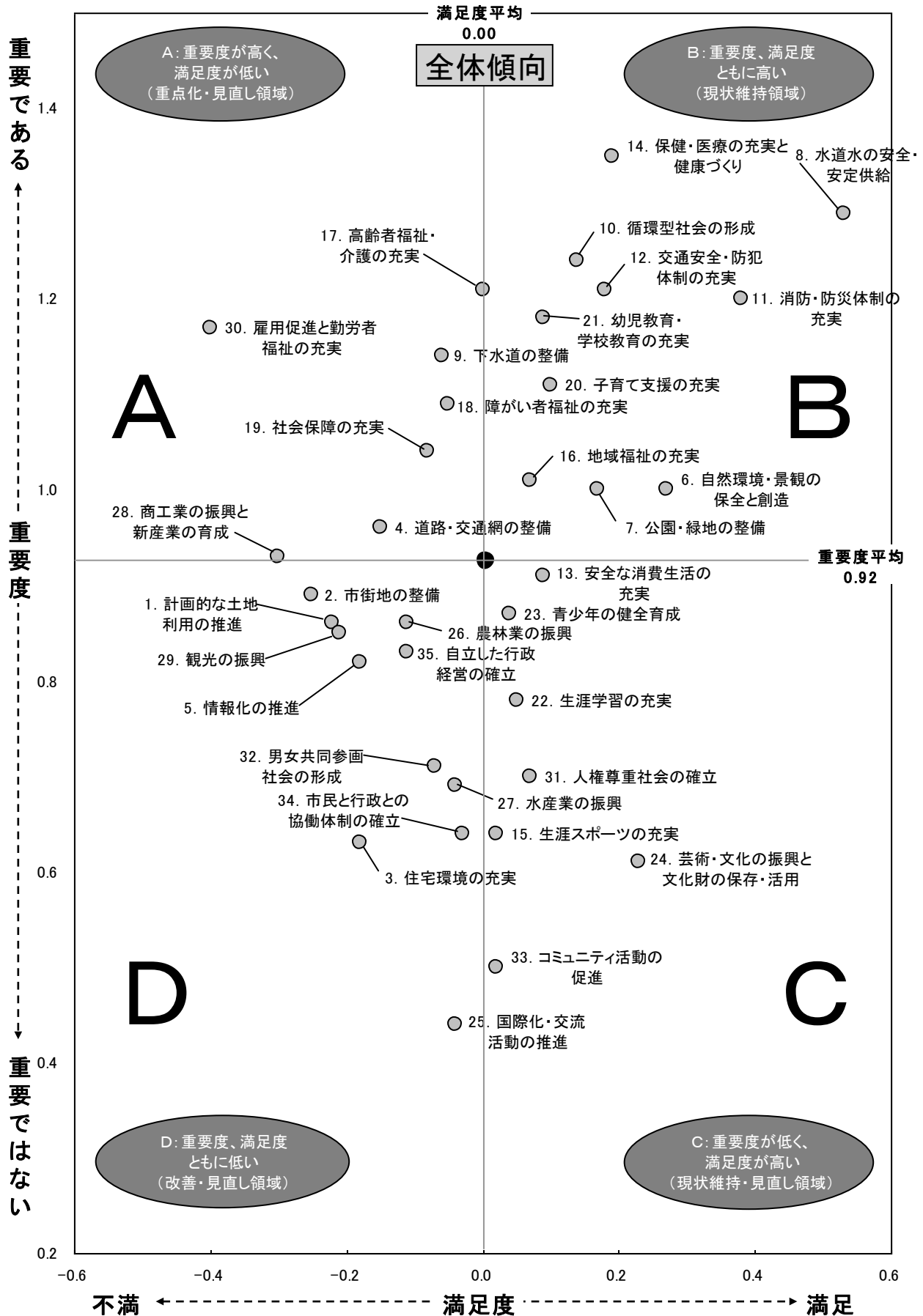
●今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持しているか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。

→「22. 生涯学習の充実」「24. 芸術・文化の振興と文化財の保存・活用」「31. 人権尊重社会の確立」などが該当する。

D. 重要度、満足度ともに低い（改善・見直し領域）

●今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再確認するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

→「3. 住宅環境の充実」「25. 国際化・交流活動の推進」などが該当する。

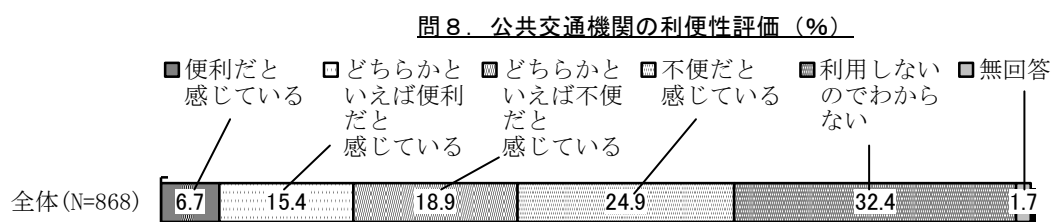


【4】公共交通について

1. 公共交通機関の利便性評価

問8. あなたは、日常生活の移動（通勤、通学、通院、買い物など）で利用する市内のバスや鉄道などの公共交通機関を便利だと感じていますか。（○印1つ）

公共交通機関の利便性評価については、「便利だと感じている」が6.7%、「どちらかといえば便利だと感じている」が15.4%で、合計22.1%が『便利である』と利便性を評価している。一方、「どちらかといえば不便だと感じている」は18.9%、「不便だと感じている」は24.9%で、合計43.8%が『不便である』と意識している。

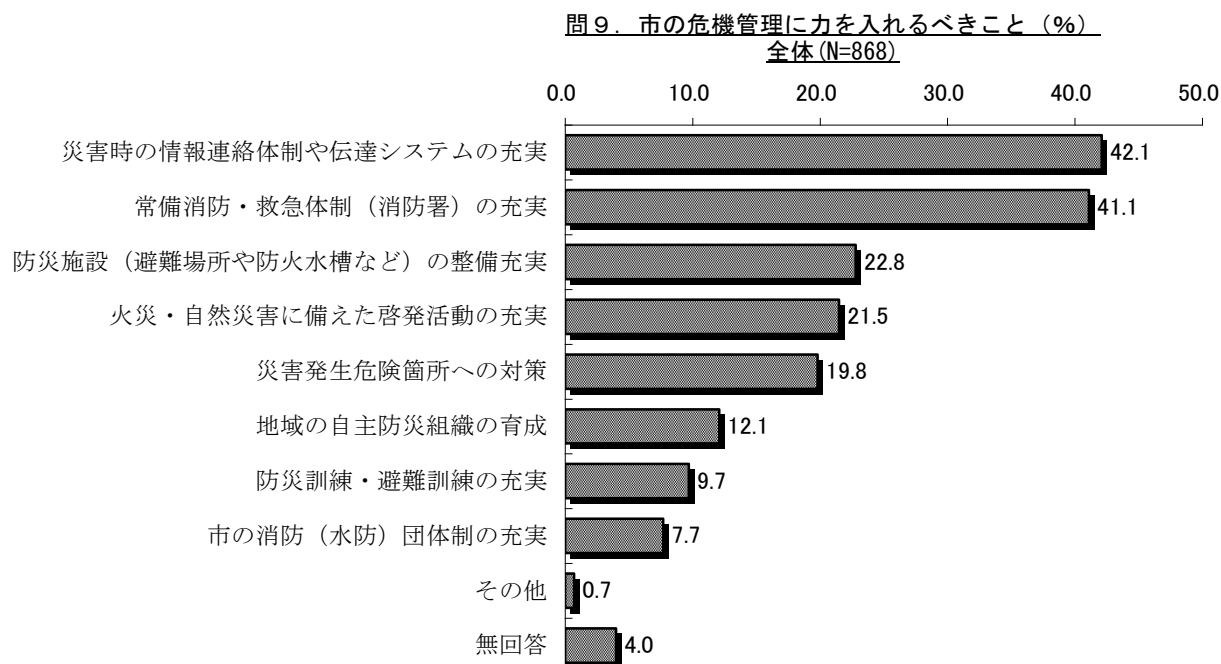


【5】消防・防災などの危機管理について

1. 市の危機管理に力を入れるべきこと

問9. あなたは、市の消防・防災体制などの危機管理について、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○印2つまで）

市の危機管理に力を入れるべきことについては、「災害時の情報連絡体制や伝達システムの充実」が42.1%と最も多く、ほぼ並んで「常備消防・救急体制（消防署）の充実」(41.1%)が続いている。以下「防災施設（避難場所や防火水槽など）の整備充実」(22.8%)、「火災・自然災害に備えた啓発活動の充実」(21.5%)の順となっている。

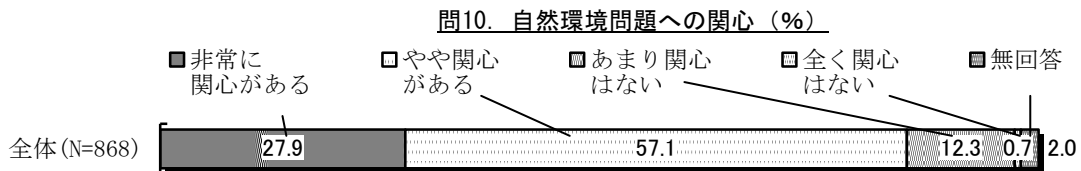


【6】自然環境・環境問題について

1. 自然環境問題への関心

問 10. あなたは、自然環境問題にどの程度関心を持っていますか。(○印1つ)

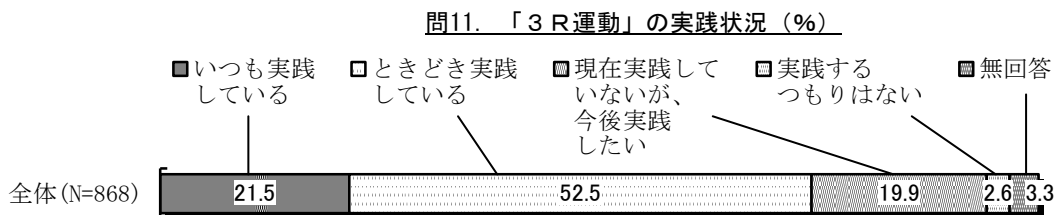
自然環境問題への関心については、「非常に関心がある」が27.9%、「やや関心がある」が57.1%と過半数を占め最も多く、合計85.0%と大半が関心を示している。



2. 「3R運動」の実践状況

問 11. あなたは「3R運動」※を実践していますか。(○印1つ)

「3R運動」の実践状況については、「いつも実践している」が21.5%、「ときどき実践している」が52.5%と過半数を占め最も多く、合計7割以上(74.0%)が『実践している』と回答している。

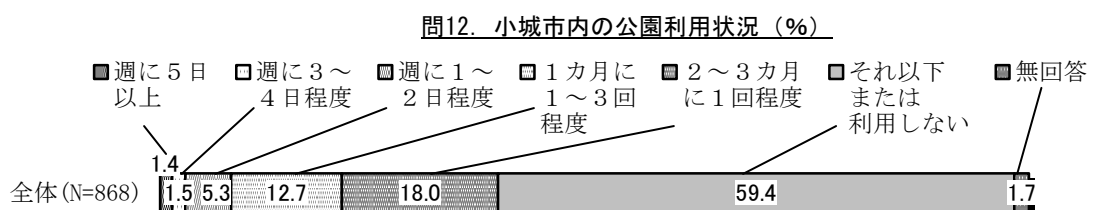


※「3R運動」→「REDUCE (リデュース=発生抑制)」「REUSE (リユース=再利用)」「RECYCLE (リサイクル=再利用)」の頭文字をとった環境運動のことで、「循環型社会」を目指した政府の方針に採用された考え方。

3. 小都市内の公園利用状況

問 12. あなたは、小都市内の公園(いこいの場、交流の場、子どもの遊び場など)をどの程度利用していますか。(○印1つ)

小都市内の公園利用状況については、「それ以下または利用しない」が6割(59.4%)を占め最も多く、次いで「2~3カ月に1回程度」(18.0%)、「1カ月に1~3回程度」(12.7%)の順となっている。「3カ月に1回以上(合計)」でみると、約4割(38.9%)となっている。



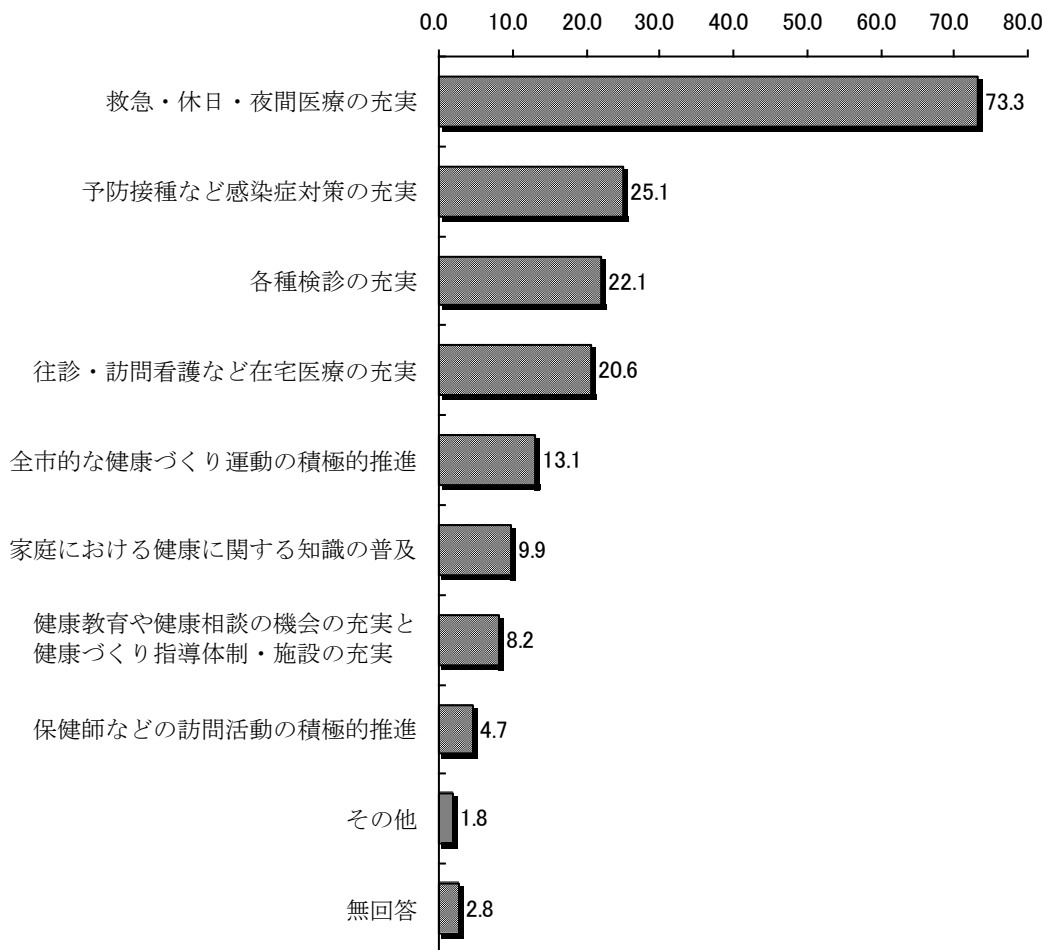
【7】保健・医療・福祉について

1. 保健・医療体制についての希望

問13. あなたは、保健・医療体制について特にどのようなことを望まれますか。
(○印2つまで)

保健・医療体制についての希望については、「救急・休日・夜間医療の充実」が73.3%と最も多く、他を大きく上回っている。次いで「予防接種など感染症対策の充実」(25.1%)、「各種検診の充実」(22.1%)、「往診・訪問看護など在宅医療の充実」(20.6%)の順となっている。

問13. 保健・医療体制についての希望 (%)
全体(N=868)

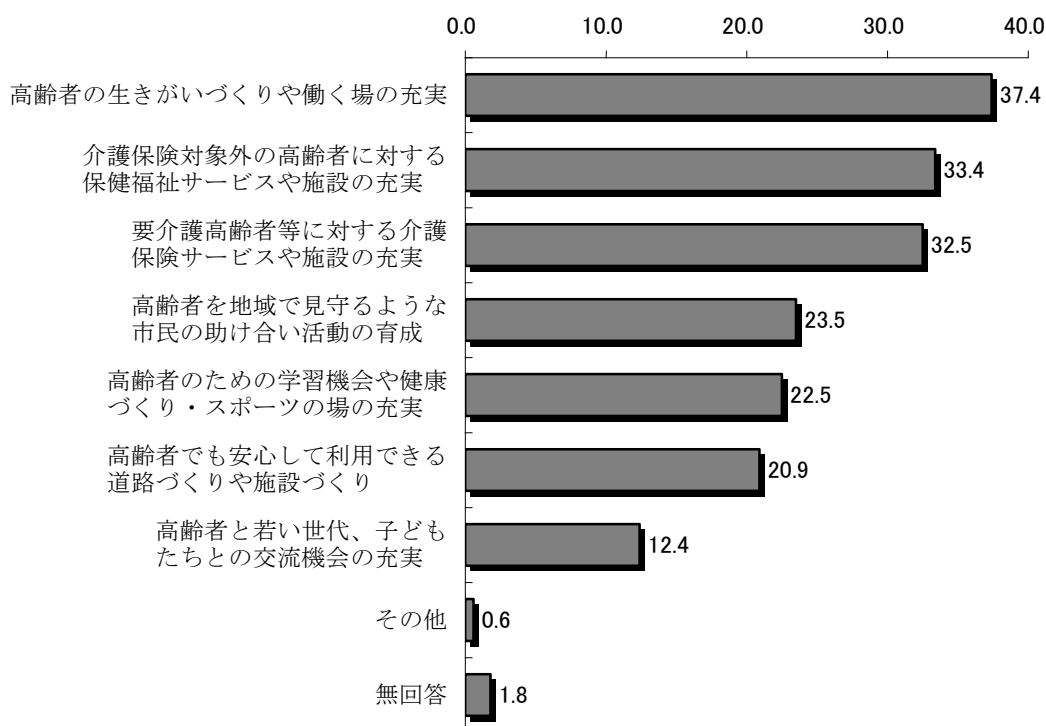


2. 高齢者施策について力を入れるべきこと

問 14. 高齢者が安心して暮らせる社会を築くため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇印2つまで)

高齢者施策について力を入れるべきことについては、「高齢者の生きがいがづくりや働く場の充実」が37.4%と最も多く、次いで「介護保険対象外の高齢者に対する保健福祉サービスや施設の充実」(33.4%)、ほぼ並んで「要介護高齢者等に対する介護保険サービスや施設の充実」(32.5%)が続き、以下「高齢者を地域で見守るような市民の助け合い活動の育成」(23.5%)、「高齢者のための学習機会や健康づくり・スポーツの場の充実」(22.5%)の順となっている。

問14. 高齢者施策について力を入れるべきこと (%)
全体(N=868)

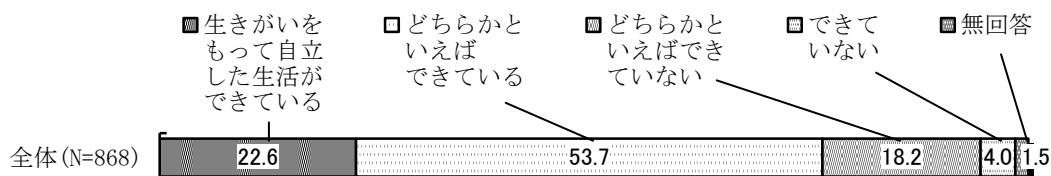


3. 生きがいをもって自立した生活ができていることについて

問 15. あなたは「生きがいをもって自立した生活」ができていると思いますか。(〇印1つ)

生きがいをもって自立した生活ができていることについては、「生きがいをもって自立した生活ができている」が22.6%、「どちらかといえばできている」が53.7%で、合計8割近く(76.3%)が『できている』と回答している。一方「どちらかといえばできていない」が18.2%、「できていない」が4.0%で、合計22.2%が『できていない』と回答している。

問15. 生きがいをもって自立した生活ができていることについて (%)

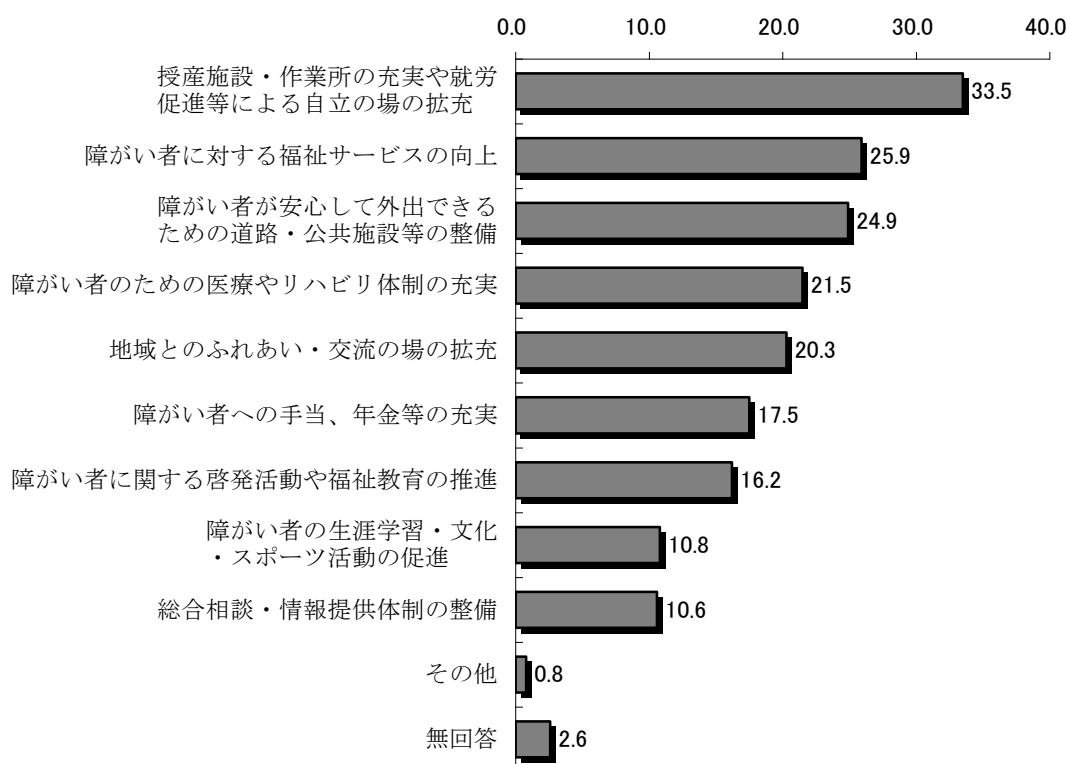


4. 障がい者施策について力を入れるべきこと

問 16. 障がいのある人が生き生きと暮らせるようにするため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印2つまで)

障がい者施策について力を入れるべきことについては、「授産施設・作業所の充実や就労促進等による自立の場の拡充」が33.5%と最も多く、次いで「障がい者に対する福祉サービスの向上」(25.9%)、ほぼ並んで「障がい者が安心して外出できるための道路・公共施設等の整備」(24.9%)が続いている。以下「障がい者のための医療やリハビリ体制の充実」(21.5%)、「地域とのふれあい・交流の場の拡充」(20.3%)の順となっている。

問16. 障がい者施策について力を入れるべきこと (%)
全体(N=868)



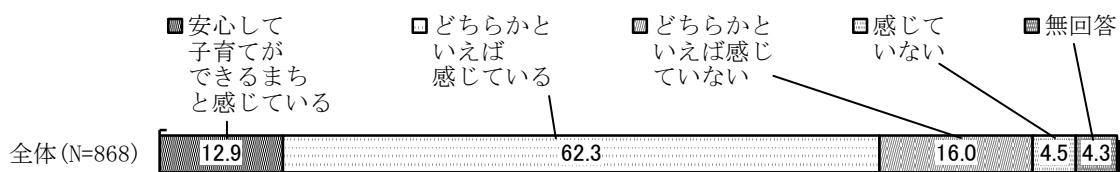
5. 子育て環境について

(1) 小城市が「安心して子育てができるまち」と感じる程度

問 17. あなたは、小城市が「安心して子育てができるまち」と感じますか。(○印1つ)

小城市が「安心して子育てができるまち」と感じる程度については、「安心して子育てができるまちと感じている」が12.9%、「どちらかといえば感じている」が62.3%と最も多く、合計8割近く(75.2%)が『感じている』と回答している。同様に『感じていない(合計)』は20.5%である。

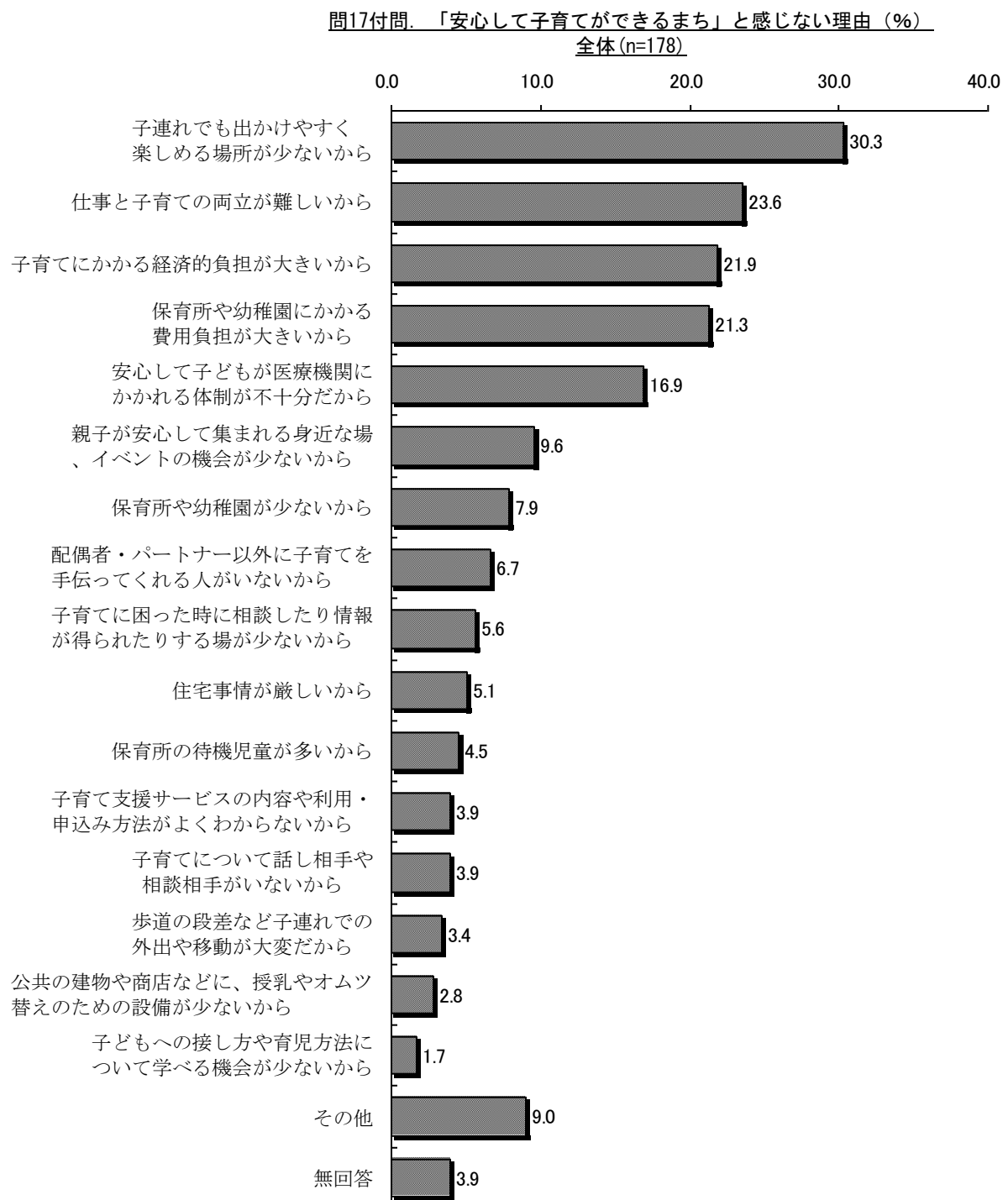
問17. 小城市が「安心して子育てができるまち」と感じる程度 (%)



(2) 「安心して子育てができるまち」と感じない理由

問 17 付問 (問 17 で 3 ~ 4 と回答した方へ) 「安心して子育てができるまち」と感じない理由は何のようなことですか。(〇印 2 つまで)

「安心して子育てができるまち」と感じない理由については、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所が少ないから」が 30.3% と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」(23.6%)、「子育てにかかる経済的負担が大きいのから」(21.9%)、「保育所や幼稚園にかかる費用負担が大きいのから」(21.3%)、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制が不十分だから」(16.9%) の順となっている。

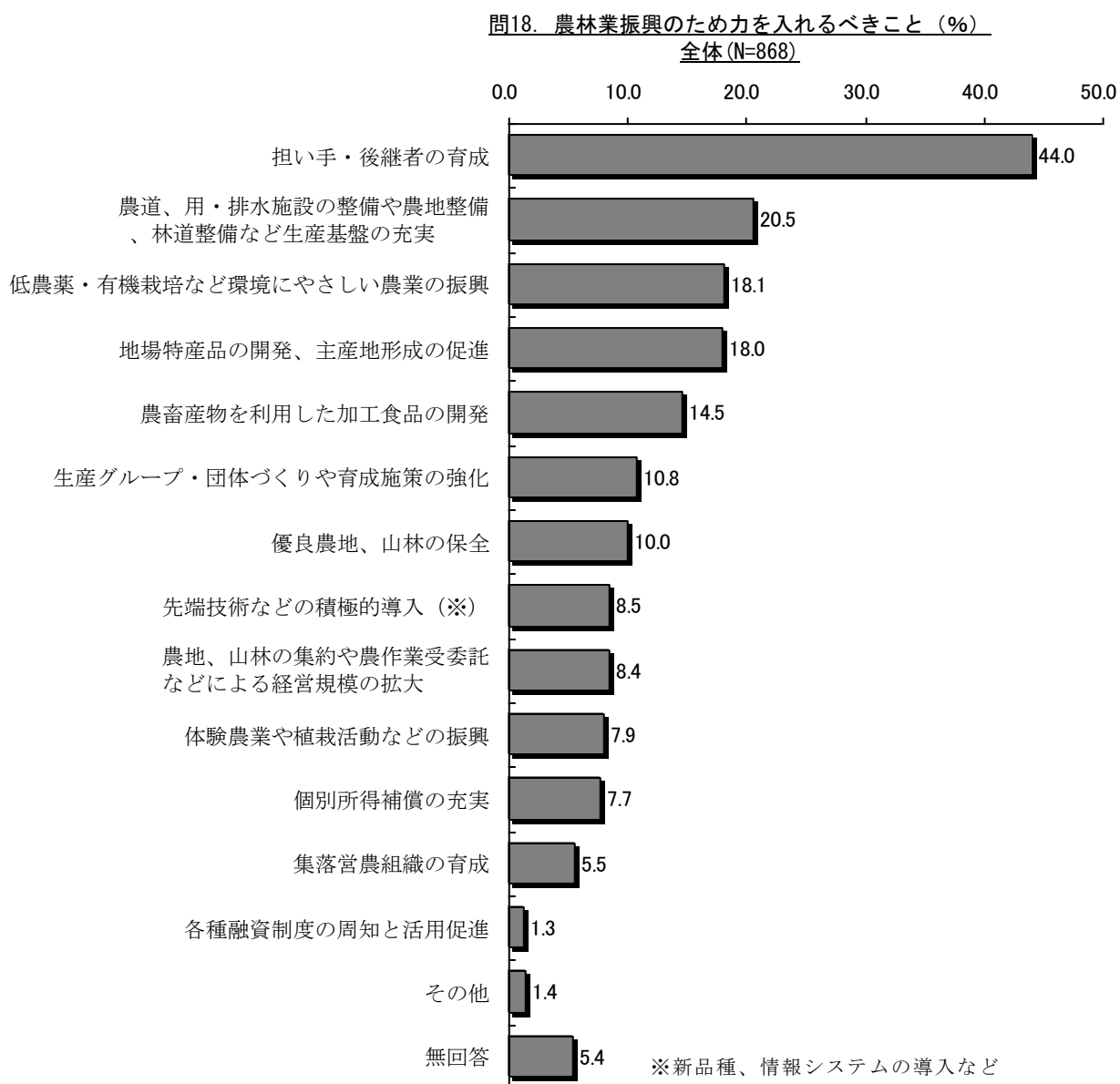


【8】産業振興について

1. 農林業振興のため力を入れるべきこと

問 18. あなたは、市の農林業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇印2つまで)

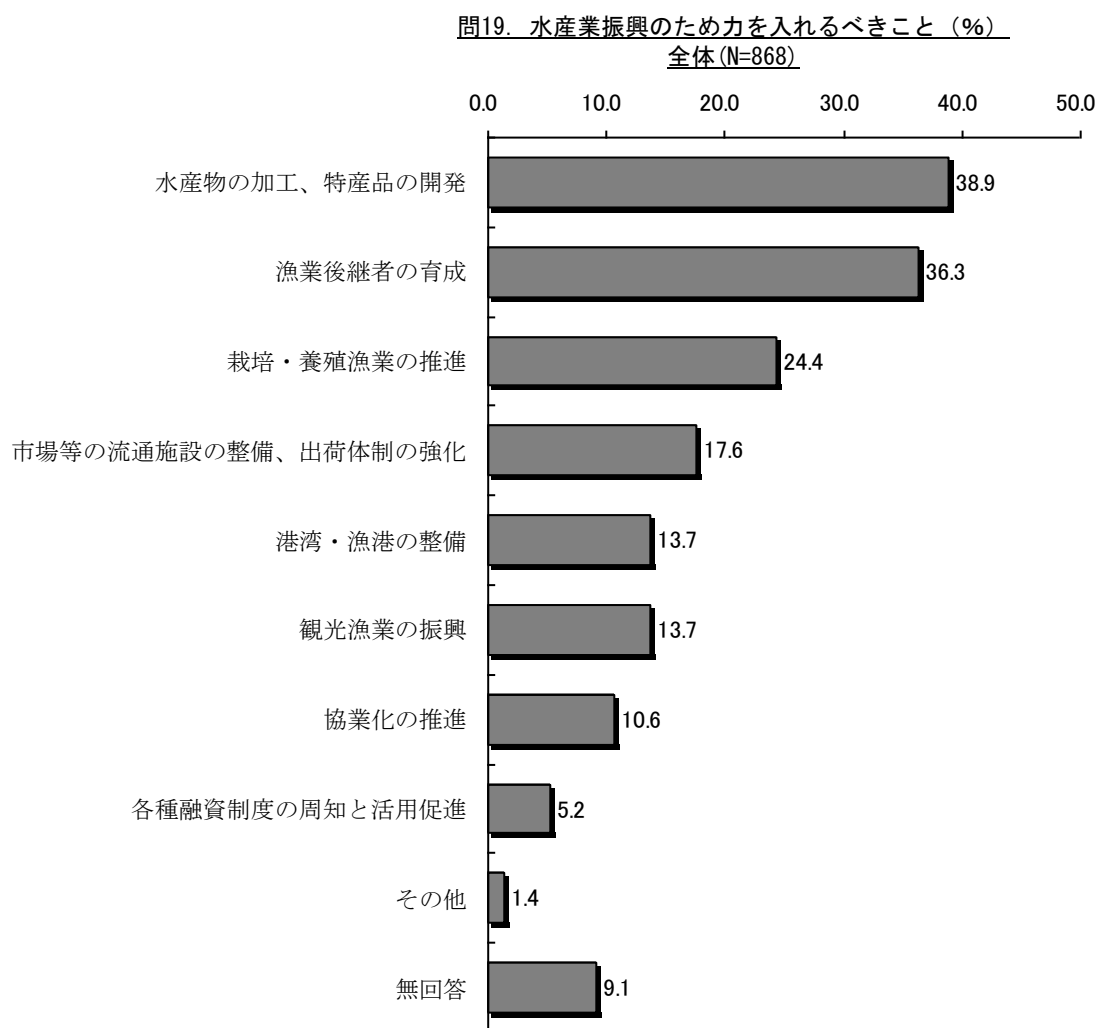
農林業振興のため力を入れるべきことについては、「担い手・後継者の育成」が44.0%と他を大きく上回って最も多くなっている。次いで「農道、用・排水施設の整備や農地整備、林道整備など生産基盤の充実」(20.5%)、「低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興」(18.1%)、「地場特産品の開発、主産地形成の促進」(18.0%)、「農畜産物を利用した加工食品の開発」(14.5%)の順となっている。



2. 水産業振興のため力を入れるべきこと

問 19. あなたは、市の水産業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印2つまで)

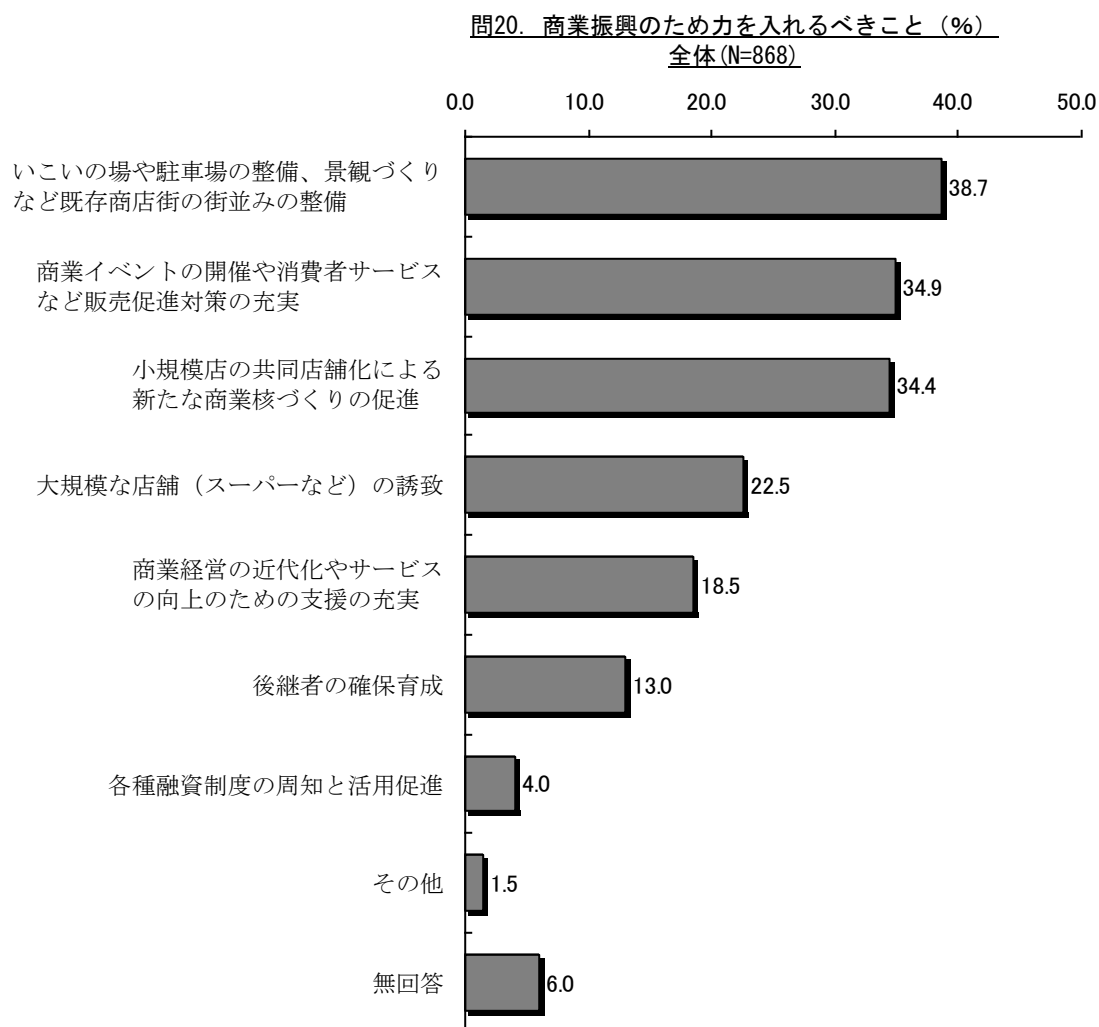
水産業振興のため力を入れるべきことについては、「水産物の加工、特産品の開発」が38.9%と最も多く、ほぼ並んで「漁業後継者の育成」が36.3%で続いている。以下「栽培・養殖漁業の推進」(24.4%)、「市場等の流通施設の整備、出荷体制の強化」(17.6%)の順となっている。



3. 商業振興のため力を入れるべきこと

問 20. あなたは、市の商業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇印2つまで)

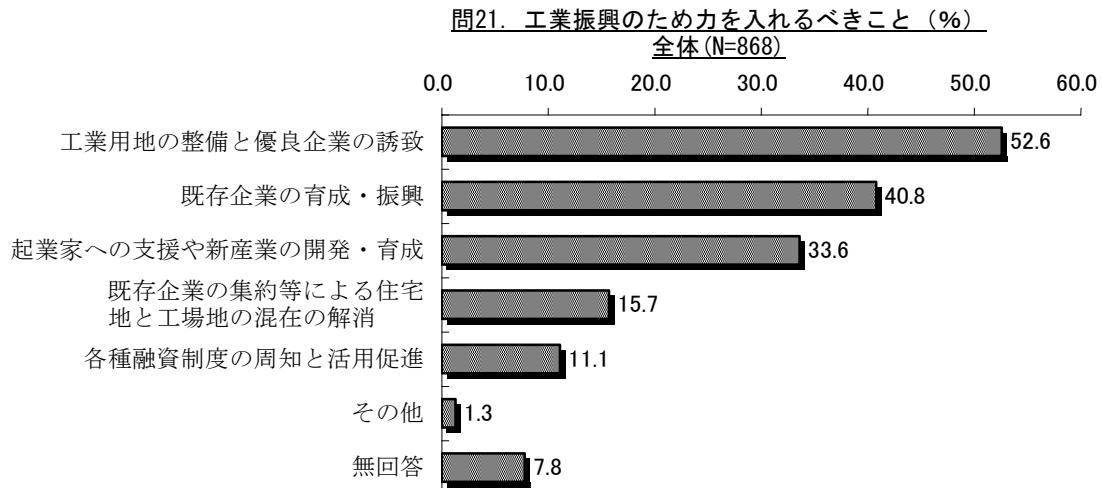
商業振興のため力を入れるべきことについては、「いこいの場や駐車場の整備、景観づくりなど既存商店街の街並みの整備」が38.7%と最も多く、ほぼ並んで「商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実」(34.9%)、「小規模店の共同店舗化による新たな商業核づくりの促進」(34.4%)が続き、以下「大規模な店舗(スーパーなど)の誘致」(22.5%)、「商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実」(18.5%)の順となっている。



4. 工業振興のため力を入れるべきこと

問 21. あなたは、市の工業を振興するため、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇印2つまで)

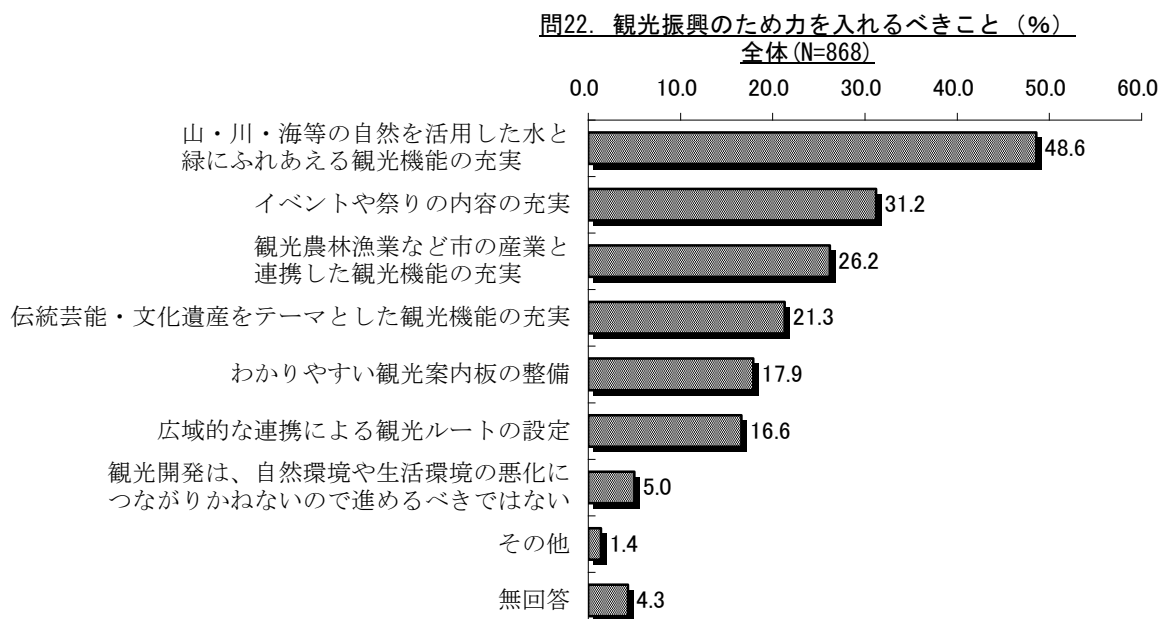
工業振興のため力を入れるべきことについては、「工業用地の整備と優良企業の誘致」が52.6%と半数を超えて最も多く、次いで「既存企業の育成・振興」(40.8%)、「起業家への支援や新産業の開発・育成」(33.6%)、「既存企業の集約等による住宅地と工場地の混在の解消」(15.7%)の順となっている。



5. 観光振興のため力を入れるべきこと

問 22. あなたは、市の観光振興のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇印2つまで)

観光振興のため力を入れるべきことについては、「山・川・海等の自然を活用した水と緑にふれあえる観光機能の充実」が48.6%と半数近くで最も多く、次いで「イベントや祭りの内容の充実」(31.2%)、「観光農林漁業など市の産業と連携した観光機能の充実」(26.2%)、「伝統芸能・文化遺産をテーマとした観光機能の充実」(21.3%)、「わかりやすい観光案内板の整備」(17.9%)の順となっている。



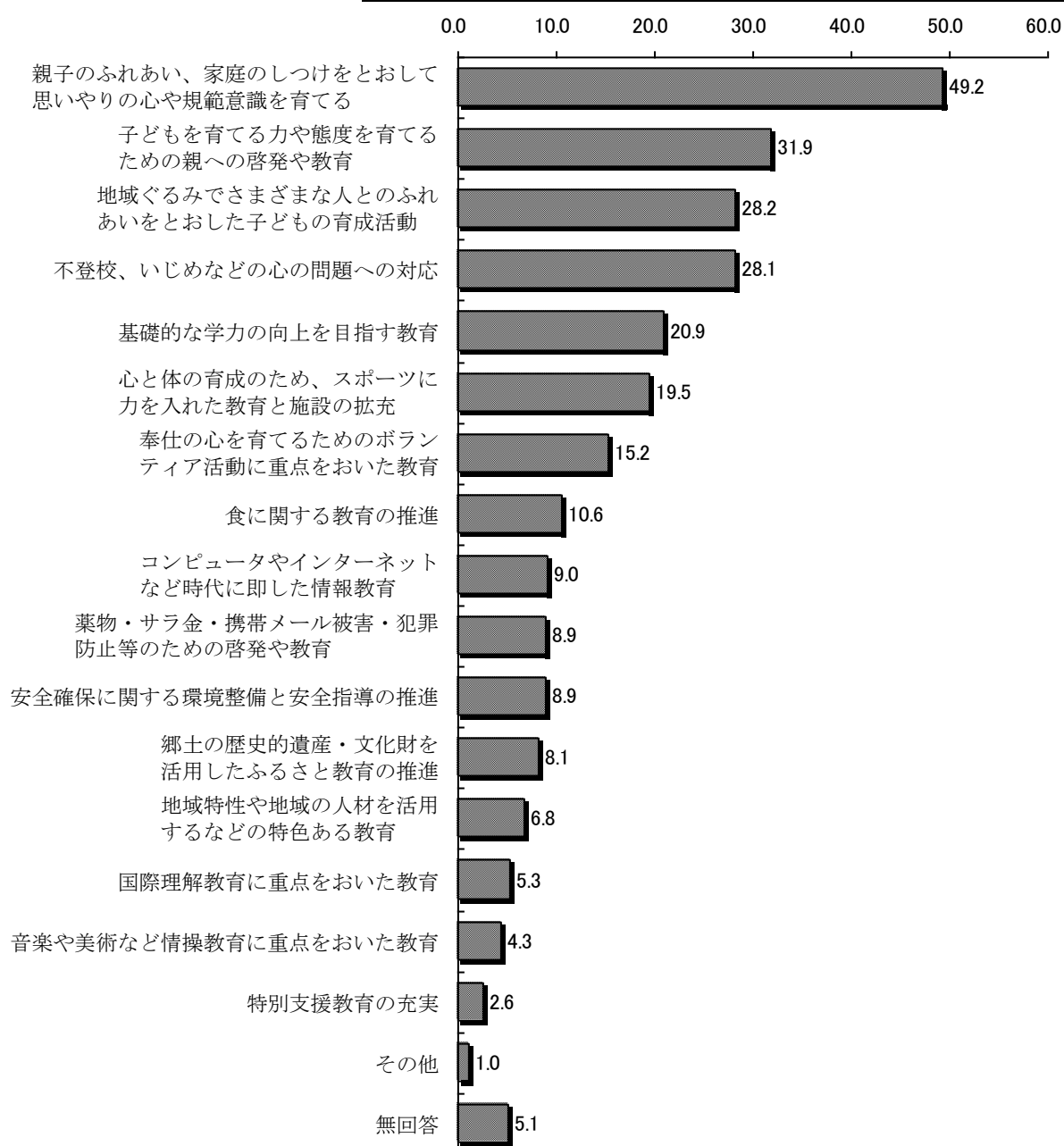
【9】学校教育・社会教育・生涯学習について

1. 子どもの健やかな育成のため力を入れるべきこと

問 23. 子どもの健やかな育成のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印3つまで)

子どもの健やかな育成のため力を入れるべきことについては、「親子のふれあい、家庭のしつけをとおして思いやりの心や規範意識を育てる」が49.2%と半数近くで最も多く、次いで「子どもを育てる力や態度を育てるための親への啓発や教育」(31.9%)、「地域ぐるみでさまざまな人とのふれあいをとおした子どもの育成活動」(28.2%)、「不登校、いじめなどの心の問題への対応」(28.1%)、「基礎的な学力の向上を目指す教育」(20.9%)の順となっている。

問23. 子どもの健やかな育成のため力を入れるべきこと (%) 全体(N=868)



2. 生涯学習への取り組み状況

問 24. あなたは、ご自分で決めた目的を持って、継続して自発的・主体的に生涯学習に取り組んでいますか。(○印1つ)

生涯学習への取り組み状況については、「取り組んでいる」が36.6%、「取り組んでいない」が57.9%で、おおむね4：6に近い割合となっている。

問24. 生涯学習への取り組み状況 (%)

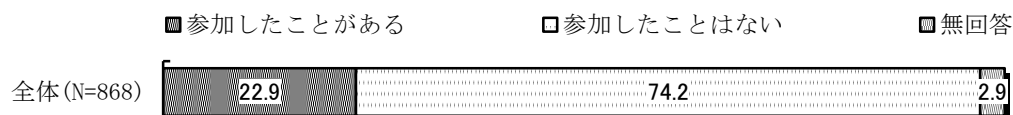


3. 文化的活動等への参加状況

問 25. あなたは、この1年間に中林梧竹記念館・小城市歴史資料館などでの鑑賞、公民館や文化センターでの文化的活動などに参加したことがありますか。(○印1つ)

文化的活動等への参加状況については、「参加したことがある」が22.9%、「参加したことがない」が74.2%となっており、およそ4～5人に1人の参加割合である。

問25. 文化的活動等への参加状況 (%)

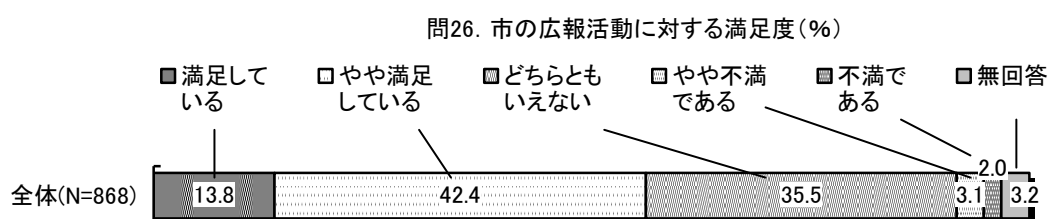


【10】市の広報活動について

1. 市の広報活動に対する満足度

問 26. 小城市では、広報誌（市報さくら）やホームページなどを使った広報などにより、様々な行政情報の提供を行っています。あなたは小城市の広報活動についてどの程度満足していますか。（○印1つ）

市の広報活動に対する満足度については、「満足している」が13.8%、「やや満足している」が42.4%で、合計56.2%と過半数が『満足』と回答している。



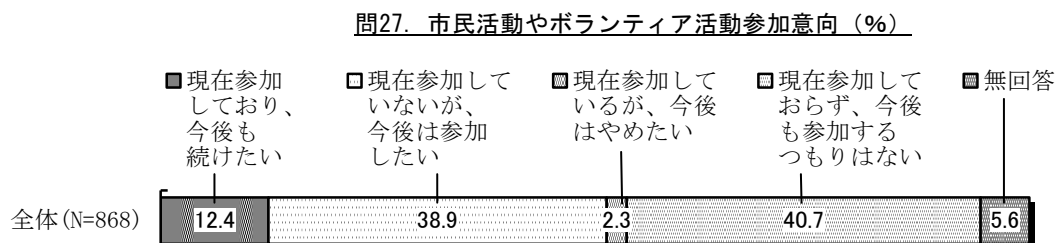
【11】市民活動・ボランティア活動、協働について

1. 市民活動やボランティア活動について

(1) 市民活動やボランティア活動参加意向

問 27. あなたの今後の市民活動やボランティア活動への意向をおたずねします。（○印1つ）

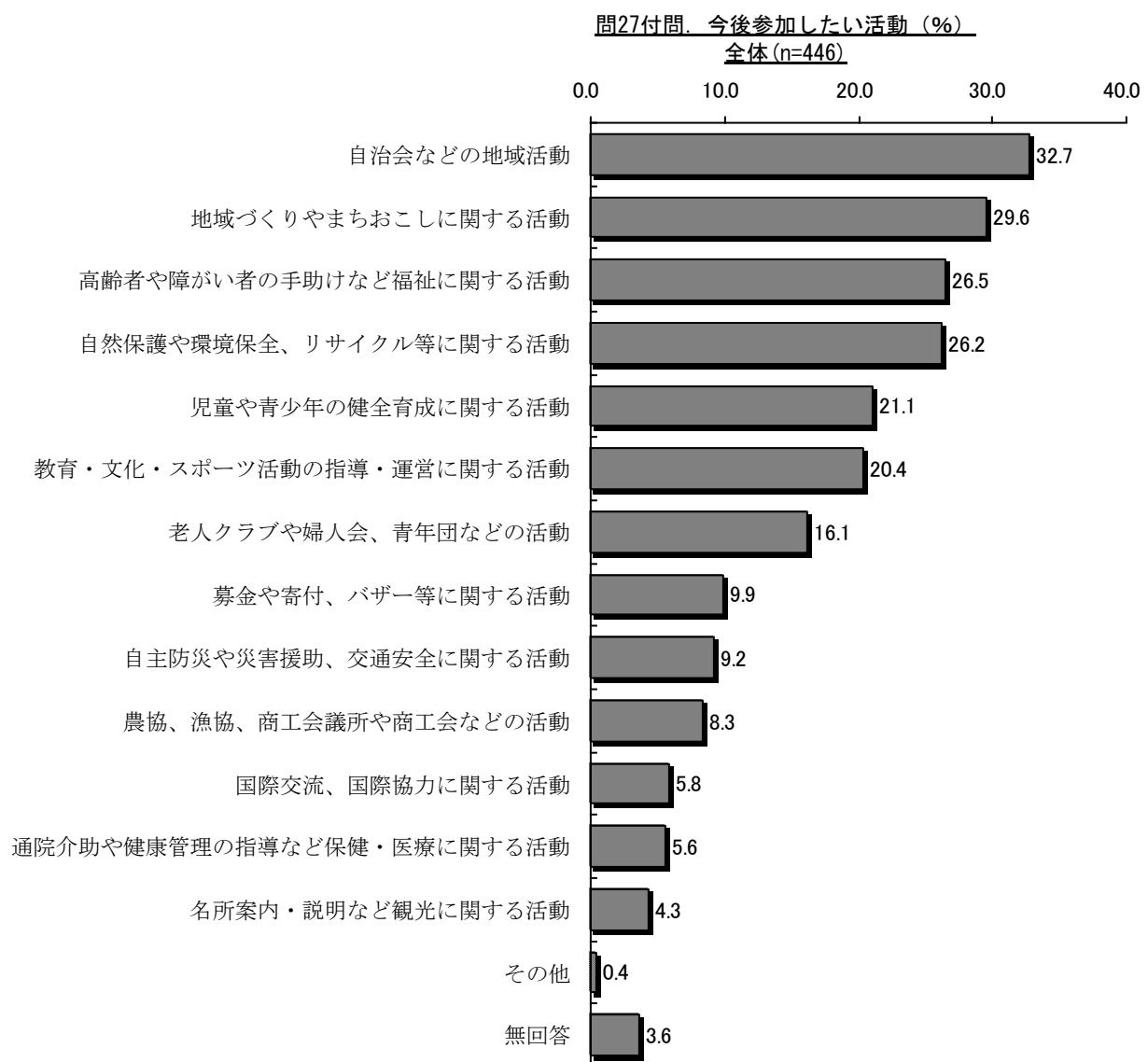
市民活動やボランティア活動参加意向については、「現在参加しており、今後も続けたい」が12.4%であった。今後の参加意向については「現在参加していないが、今後は参加したい」が38.9%みられた。一方、「現在参加しているが、今後はやめたい」が2.3%、「現在参加しておらず、今後は参加するつもりはない」が40.7%と、合計43.0%が消極的な意識となっている。



(2) 今後参加したい活動

付問（問27で1～2と回答した方へ）あなたは、今後（今後とも）どのような活動に参加したいと思いますか。（〇印3つまで）

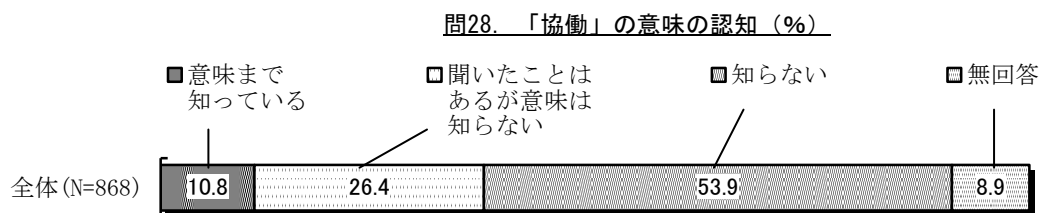
今後参加したい活動については、「自治会などの地域活動」が32.7%と最も多く、次いで「地域づくりやまちおこしに関する活動」（29.6%）、「高齢者や障がい者の手助けなど福祉に関する活動」（26.5%）、「自然保護や環境保全、リサイクル等に関する活動」（26.2%）、「児童や青少年の健全育成に関する活動」（21.1%）、「教育・文化・スポーツ活動の指導・運営に関する活動」（20.4%）の順となっている。



2. 「協働」の意味の認知

問 28. 市民・CSO※・企業と行政が相互に連携し、「新しい公共」のあり方を考え、ともに協力して地域の課題解決を目指してまちづくりを進めていくことを「協働」といいますが、あなたはこの言葉の意味を知っていますか。(○印1つ)

「協働」の意味の認知については、「意味まで知っている」が10.8%とほぼ1割。「聞いたことはあるが意味は知らない」は26.4%で、合計37.2%が『(名称)認知者』である。「知らない」は53.9%と過半数を占める。



※CSO／市民社会組織(Civil Society Organizations)のことを言い、志縁団体(ボランティア団体・市民活動団体・まちづくり団体・NPO 法人等)と地縁団体(自治会・婦人会・老人会・PTA 等)の総称

【12】人権について

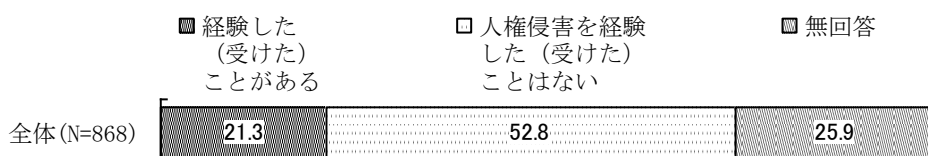
1. 人権侵害意識

問 29. あなたは、この 10 年程の間に、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
(○印いくつでも)

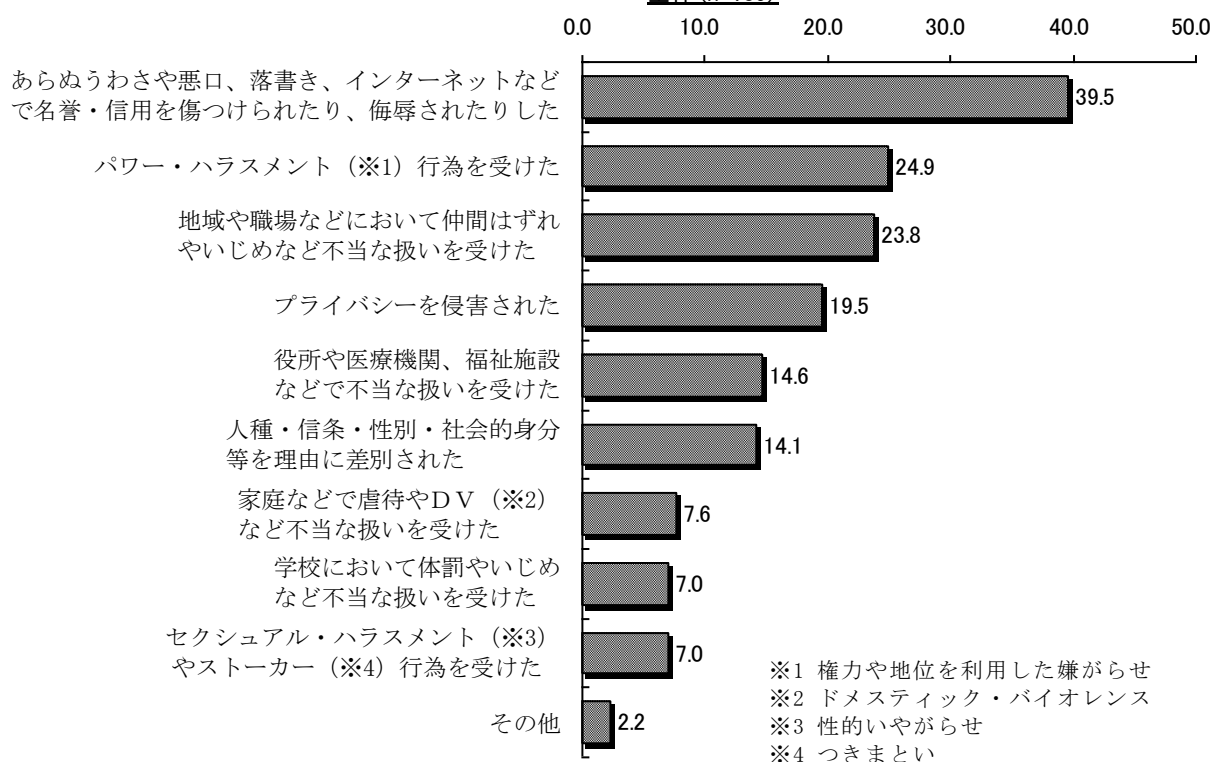
人権侵害意識については、「人権侵害を経験した（受けた）ことはない」が 52.8%と過半数を占めるが、「経験した（受けた）ことがある」は 21.3%みられた。

経験者における、侵害されたと意識していることについては「あらぬうわさや悪口、落書き、インターネットなどで名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした」が 39.5%、「パワー・ハラスメント（権力や地位を利用した嫌がらせ）行為を受けた」が 24.9%、以下「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」（23.8%）、「プライバシーを侵害された」（19.5%）の順となっている。

問29. 人権侵害意識の有無（%）



問29. 人権侵害意識（%）
全体 (n=185)



【13】 市政運営について

1. 市政運営についての満足度

問 30. あなたは、小城市の市政運営についてどの程度満足していますか。(○印1つ)

市政運営についての満足度については、「非常に満足している」が 3.6%、「どちらかといえば満足している」が 57.4%と最も多く、合計 61.0%が『満足』と回答している。一方、「どちらかといえば不満である」(30.6%)、「非常に不満である」(3.2%) の合計 33.8%が『不満』層である。

問30. 市政運営についての満足度 (%)

